

第46回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議

日時：令和3年4月20日（火）15時30分～

場所：大阪府新別館南館8階 大研修室

次 第

議 題

（1）現在の感染状況・療養状況等

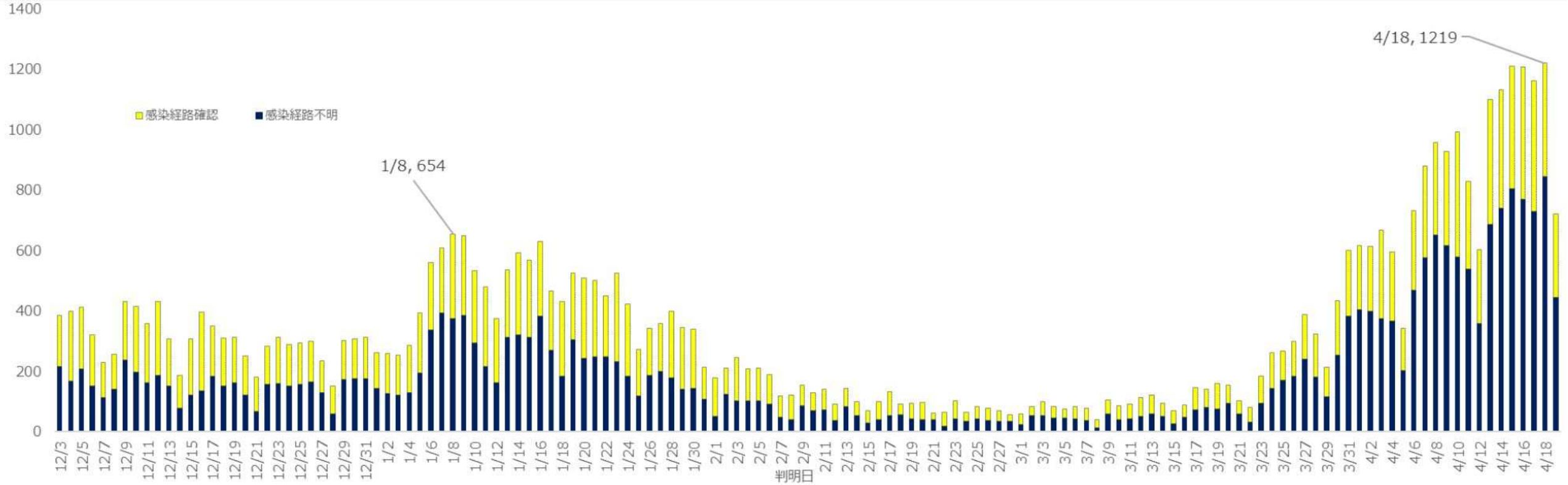
- ・現在の感染状況について【資料1-1】
- ・変異株の発生状況について【資料1-2】
- ・現在の療養状況について【資料1-3】
- ・療養者数のシミュレーションについて【資料1-4】
- ・感染状況や医療提供体制の状況について【資料1-5】
- ・医療提供体制確保のための緊急対策【資料1-6】
- ・宿泊療養施設の確保について【資料1-7】
- ・滞在人口の推移【資料1-8】
- ・感染に強い飲食店に向けた「見回り隊」について（昼間の見回り調査）【資料1-9】
- ・営業時間短縮要請の実効性確保に向けた「見回り隊（20時以降）」について【資料1-10】

（2）緊急事態宣言発出に関する国への要請

- ・緊急事態宣言発出に関する国への要請【資料2-1】

陽性者数の推移

資料 1 - 1



12月3日 赤信号点灯（医療非常事態宣言）

12月4日 レッドステージ1移行
府民へのできる限り不要不急の外出自粛要請

12月16日～1月13日 府民への不要不急の外出自粛要請
大阪府全域への時短要請等

市内21時

12月26日 全ての国・地域からの外国人入国拒否

1月9日 緊急事態宣言発出要請

1月14日～2月28日 緊急事態措置
レッドステージ（非常事態）2移行
府民への不要不急の外出自粛要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請

府域20時

2月23日 緊急事態宣言解除要請

3月1日～緊急事態宣言解除
イエローステージ移行
黄信号点灯（医療非常事態宣言解除）
4人以下でのマスク会食の徹底
歓送迎会・謝恩会・宴会伴う花見の自粛要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請
府民への不要不急の外出自粛要請（21日）
首都圏への往来自粛要請（22日～）等

市内21時

3月31日 まん延防止等重点措置要請

4月1日～
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請

府域21時

4月5日～まん延防止等重点措置適用
重点措置を講じるべき区域（大阪市）
時短要請20時

4月7日 赤信号点灯（医療非常事態宣言）

4月8日 府域における不要不急の外出移動自粛要請

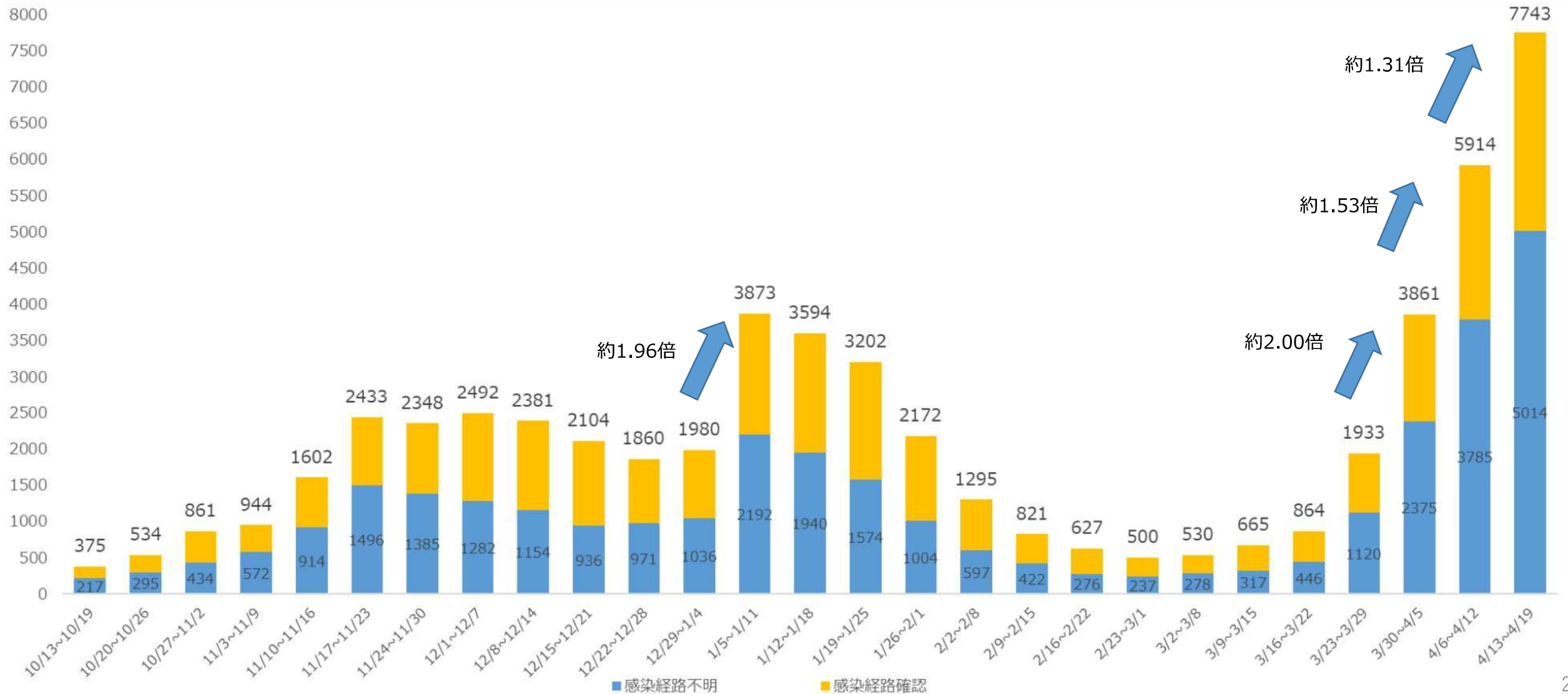
4月9日 週末の外出移動自粛要請

4月14日 大学等でのオンライン授業実施や
学校での部活動休止、テレワーク
徹底等を要請

市内20時・市外21時

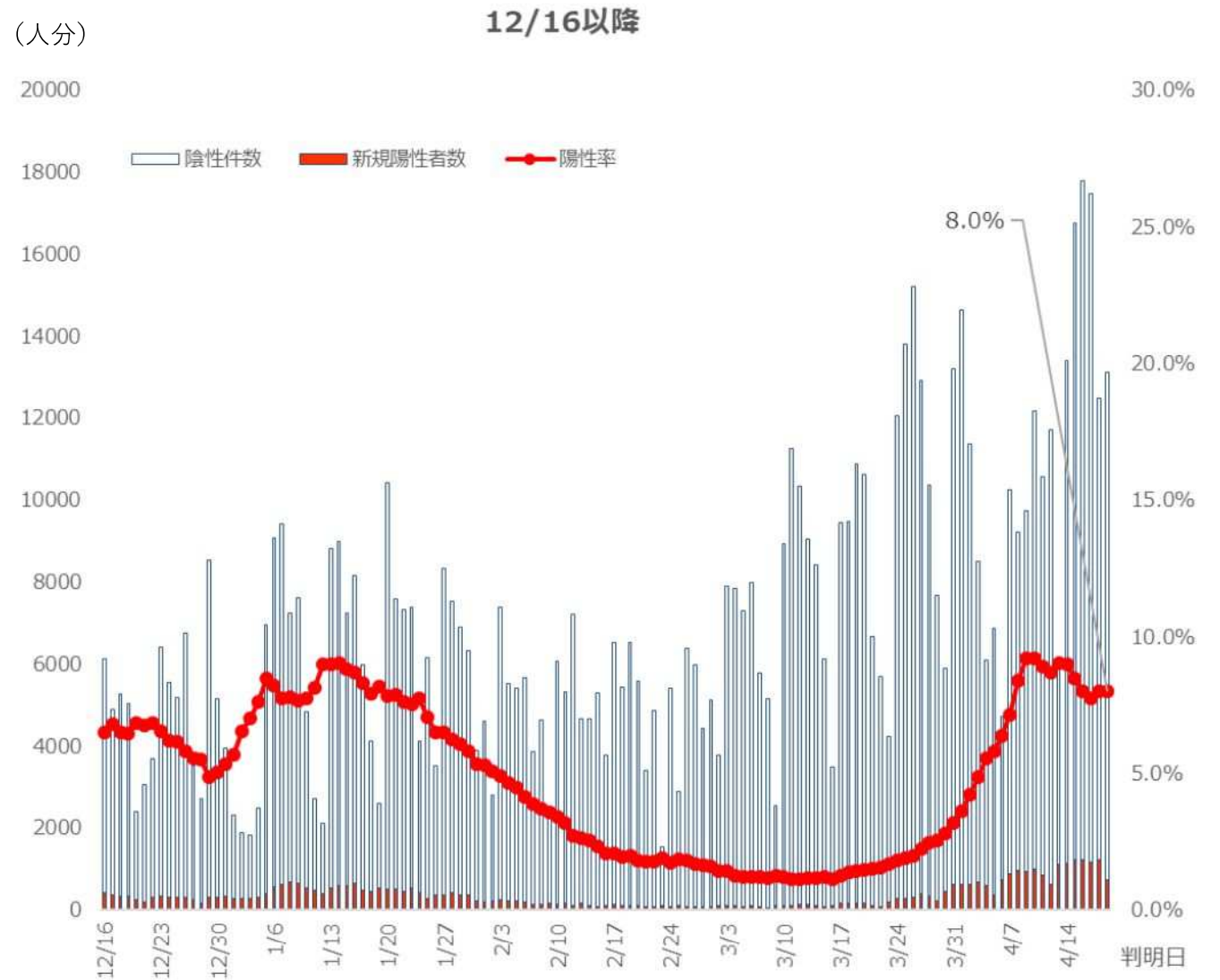
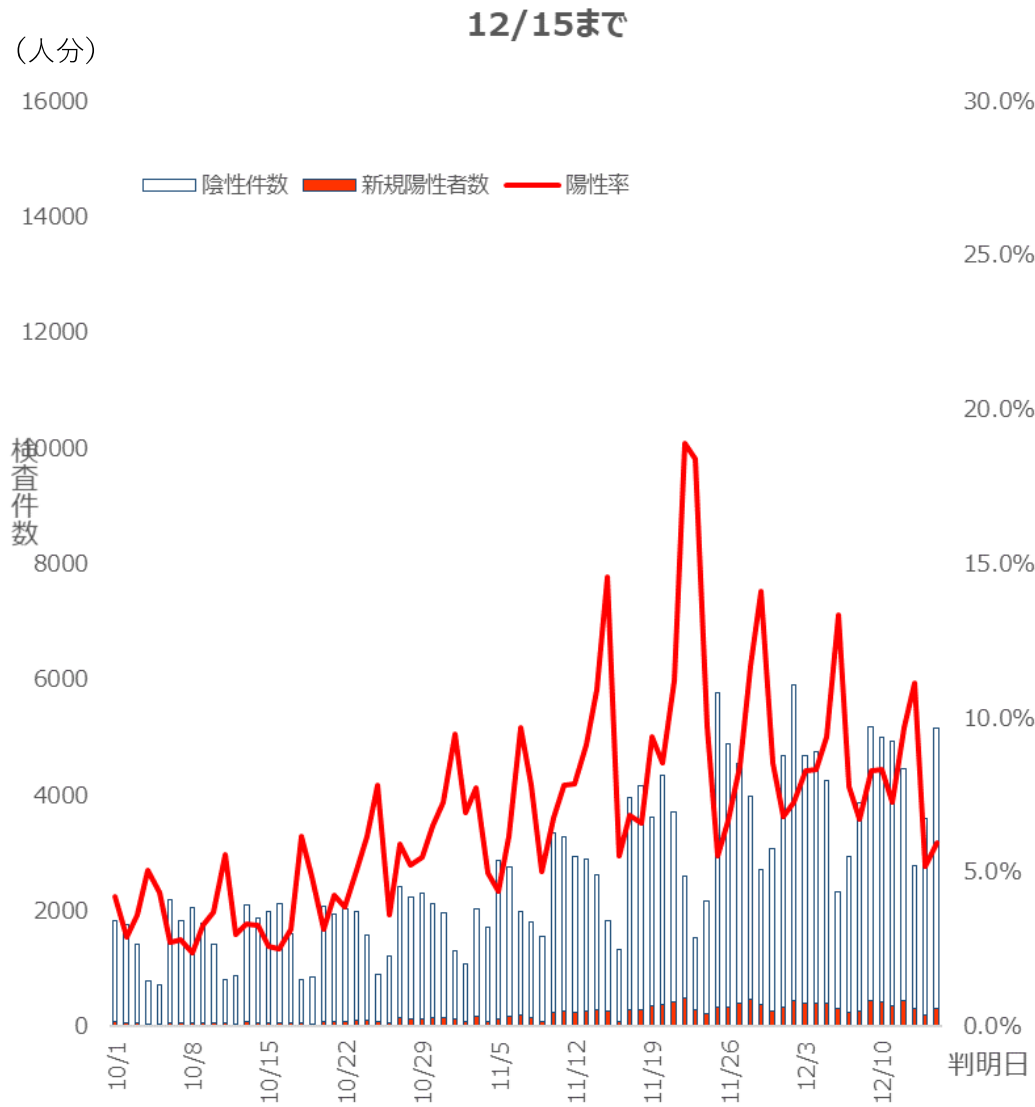
7日間毎の新規陽性者数

第四波は、依然感染が鈍化せず、急拡大し、4/18まではほぼ連日、過去最多を記録。
(直近1週間の新規陽性者数一日平均約1,106名)



検査件数と陽性率

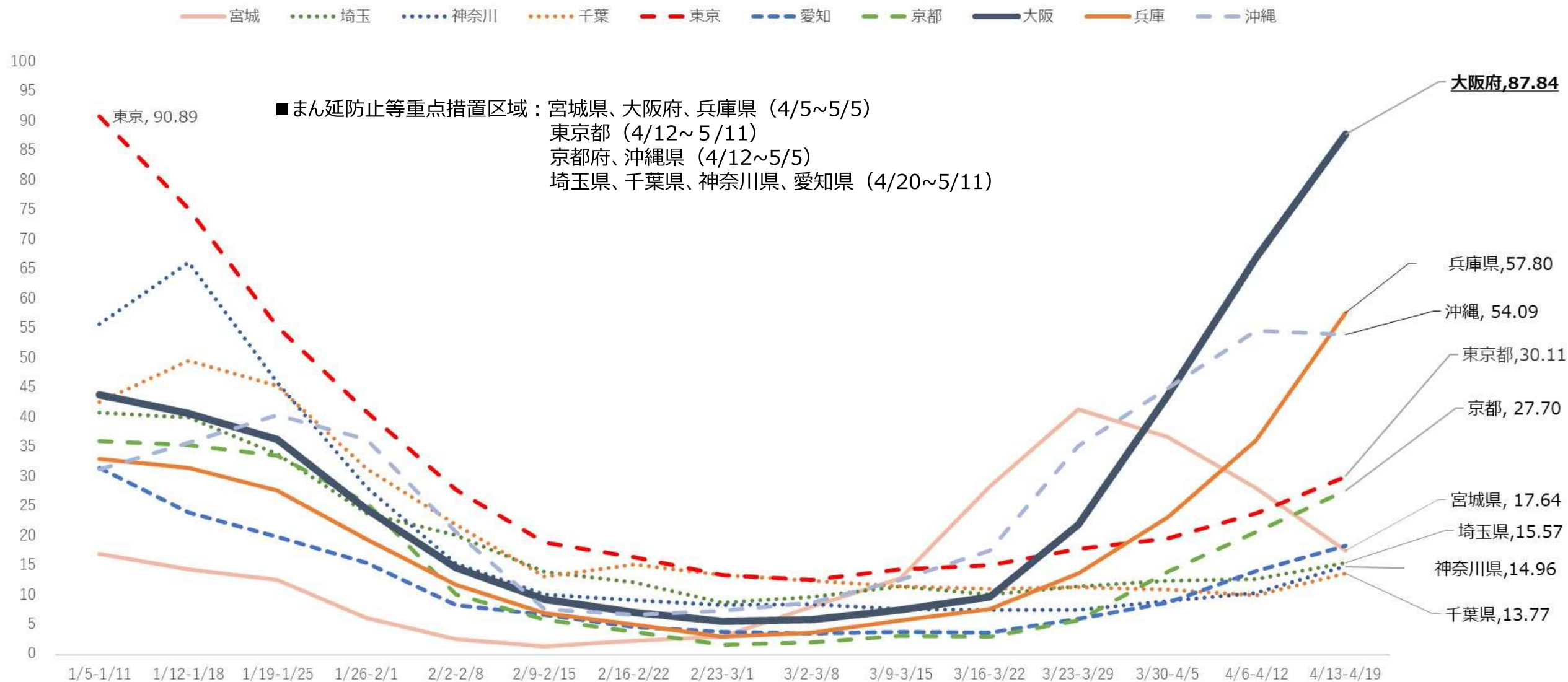
感染拡大に伴い、陽性率が急上昇した後、やや微減傾向。



※12月15日より国システム（G-MIS）を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数／1週間の検体採取をした人数」に変更

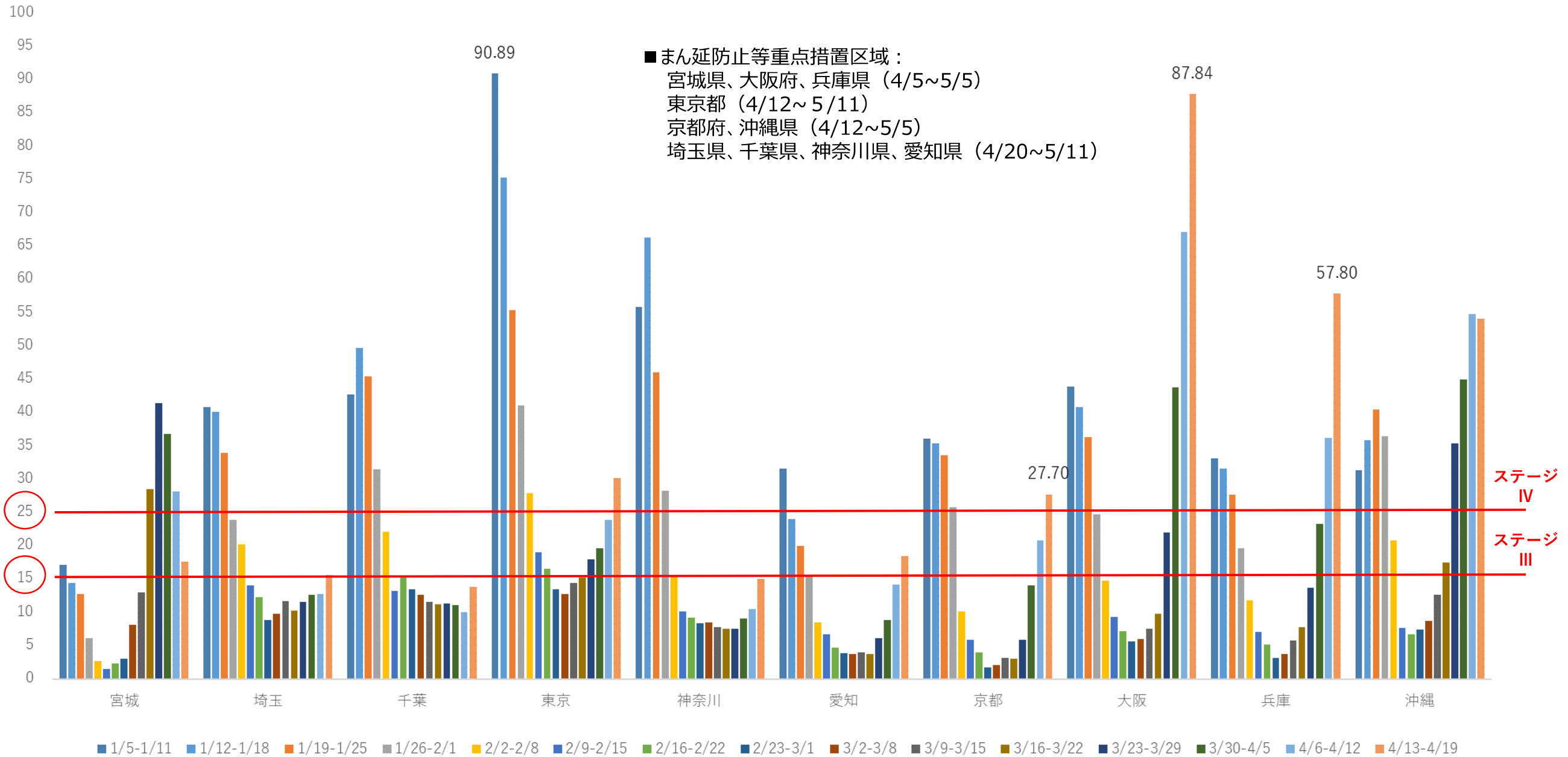
週・人口10万人あたり新規陽性者数(まん延防止等重点措置区域)

大阪府の直近1週間人口10万人あたり新規陽性者数は1月の緊急事態宣言下の東京の発生状況(最大90.89人)並みまで急上昇。



※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

週・人口10万人あたり新規陽性者数(まん延防止等重点措置区域)



※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による 5

「大阪モデル」モニタリング指標の状況

- ◆ 重症病床のひっ迫を受け、臨時の病床確保や軽症中等症患者受入医療機関等における重症者の治療継続の対応を行っているが、病床はほぼ満床状態。
- ◆ 軽症中等症病床使用率も4/18から連日過去最多となり、極めてひっ迫。

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	現在の状況
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	—	1.54	1.50	1.43	1.38	1.34	1.36	1.32	3/31をピークに減少傾向
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均		—	—	10人未満	571.71	595.43	617.29	639.14	660.29	704.00	716.29	3/1以降、増加
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—	62.4%	65.5%	66.5%	63.7%	62.6%	69.3%	61.8%	3/24以降、50%を超過したまま推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ 後半3日間で半数以上	—	—	—	6282	6533	6784	7064	7234	7626	7743	3/3以降増加
	うち後半3日間		—	—	—	2528	2831	3437	3545	3576	3587	3099	
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満	71.26	74.11	76.96	80.14	82.06	86.51	87.84	3/31に25人（ステージIV基準）超過して以降急増
	【参考②】陽性率（7日間）	—	—	—	—	9.0%	9.0%	8.4%	8.0%	7.7%	8.0%	8.0%	3/17以降増加
(3) 病床等のひっ迫状況	⑤患者受入重症病床使用率	—	70%以上 （「警戒（黄色）」信号が点灯した日から起算して25日以内）	7日間連続 60%未満	60%未満	95.1% (93.8%)	97.8% (94.4%)	100.9% (93.8%)	102.2% (92.3%)	105.4% (95.2%)	108.9% (98.4%)	110.7% (97.6%)	4/10以降連日過去最多（第一波を除く）
	【参考③】患者受入軽症中等症病床使用率	—	—	—	—	63.2%	63.6%	67.2%	69.7%	72.4%	77.9%	79.1%	2021/4/18以降連続して過去最多（第一波を除く）
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—	32.7%	30.9%	29.2%	27.6%	31.1%	33.1%	36.0%	4/17以降増加

大阪モデルの重症病床使用率は、病床確保計画の確保病床数224床で算出。括弧内は、病床確保計画の確保病床数（224床）を上回って確保した病床数を含む。
患者数は、対応できる人材や設備が整っている軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている重症者数を除く。

4/1 まん延防止等重点措置適用（4/5～）を受け、大阪市域の飲食店・遊興施設に対する時短要請（20時まで）を決定（第43回対策本部会議）
4/7 大阪モデル赤信号点灯（医療非常事態宣言）、府域における不要不急の外出移動自粛要請等を決定（第44回対策本部会議）
4/14 大学等でのオンライン授業実施や学校での部活動休止、テレワーク徹底等を要請

新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

4月5日に、陽性率を除き、ステージⅣの基準を上回り、各指標の数値は以後も急上昇。

指標			ステージⅣ 目安	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/19時点の 目安に対する状況	
ステージⅣ	医療提供体制等の負荷	医療のひっ迫具合	①確保病床占有率	50%以上	66.7% (1,338/2,005)	67.4% (1,351/2,005)	70.9% (1,422/2,005)	73.3% (1,470/2,005)	76.1% (1,525/2,005)	81.3% (1,631/2,005)	82.6% (1,657/2,005)	●
			②入院率	25%以下	14.1% (1,338/9,522)	13.4% (1,351/10,073)	13.0% (1,422/10,940)	12.6% (1,470/11,672)	12.3% (1,525/12,384)	12.3% (1,631/13,239)	12.3% (1,657/13,475)	●
			③重症病床確保病床占有率	50%以上	63.8% (296/464)	65.1% (302/464)	69.8% (324/464)	72.6% (337/464)	75.4% (350/464)	76.5% (355/464)	80.0% (371/464)	●
			④人口10万人あたり療養者数	30人以上	108.02	114.27	124.11	132.41	140.49	150.19	152.86	●
	感染の状況	⑤陽性率 1週間平均		10%以上	9.0%	9.0%	8.4%	8.0%	7.7%	8.0%	8.0%	○
		⑥直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数		25人以上	71.26	74.11	76.96	80.14	82.06	86.51	87.84	●
		⑦感染経路不明割合 1週間平均		50%以上	63.7%	63.8%	63.7%	63.3%	63.9%	64.6%	64.8%	●

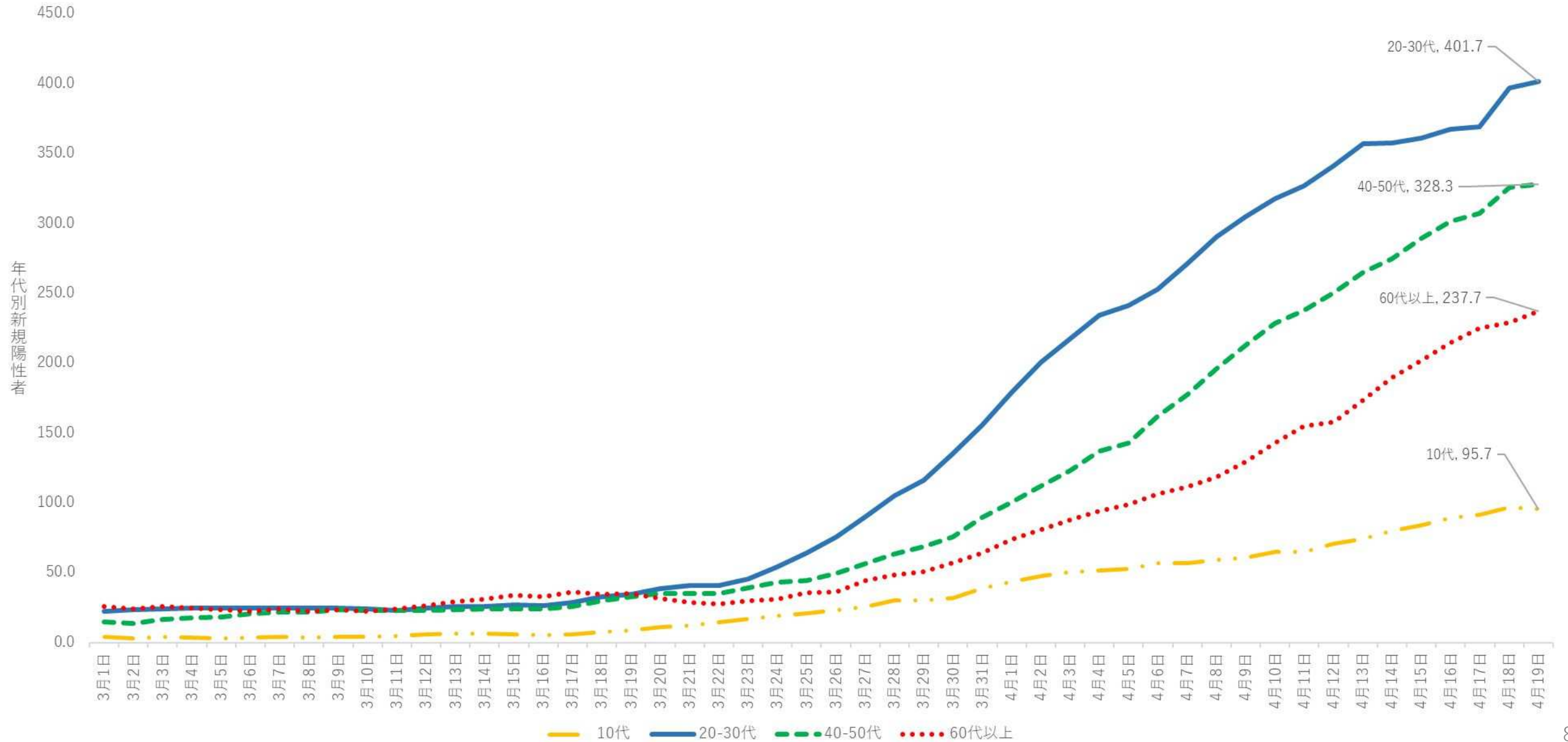
人口10万人あたり療養者数が10人以上の場合に適用する。ただし、新規陽性者が発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院している場合には適用しない。

4/1 まん延防止等重点措置適用（4/5～）を受け、大阪地域の飲食店・遊興施設に対する時短要請（20時まで）を決定（第43回対策本部会議）
 4/7 大阪モデル赤信号点灯（医療非常事態宣言）、府域における不要不急の外出移動自粛要請等を決定（第44回対策本部会議）
 4/14 大学等でのオンライン授業実施や学校での部活動休止、テレワーク徹底等を要請

●：基準外 ○：基準内

年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（日別）

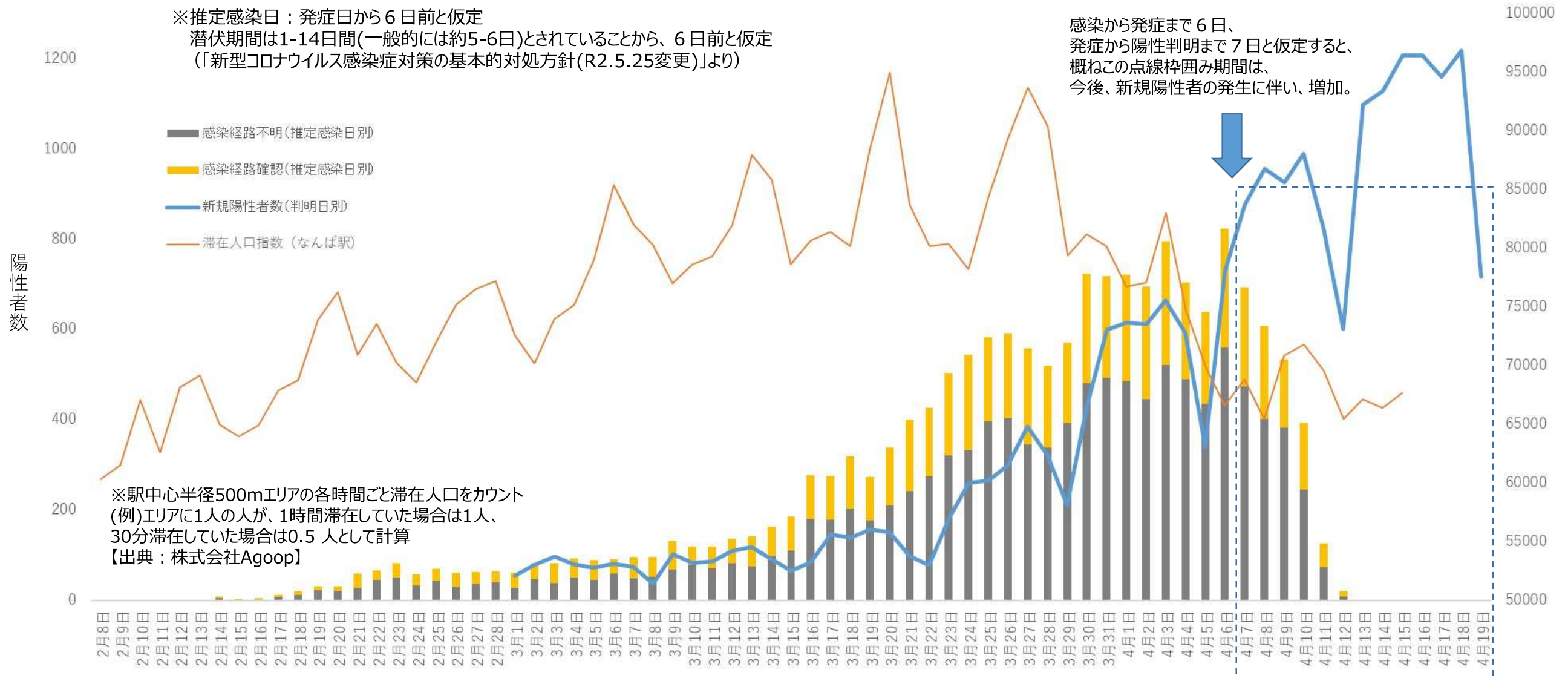
各年代で依然増加傾向にはあるが、直近1日はやや鈍化。



【第四波】推定感染日別陽性者数

人流は減少傾向にあるが、推定感染日別陽性者数は、減少していない。

(3月1日以降4月19日までの判明日分) (N=16,768名(調査中、不明、無症状4,798名を除く))

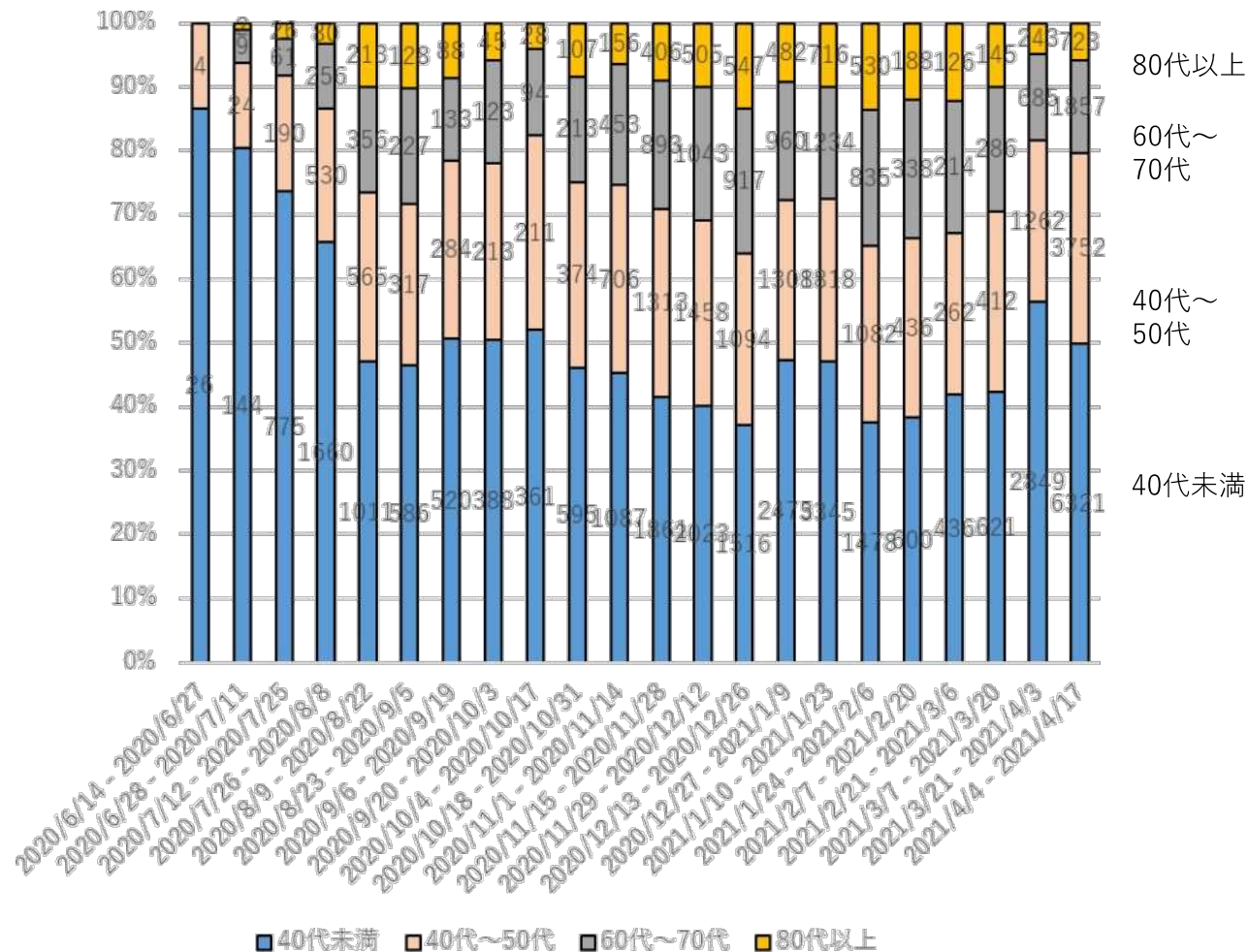


陽性者の年齢区分

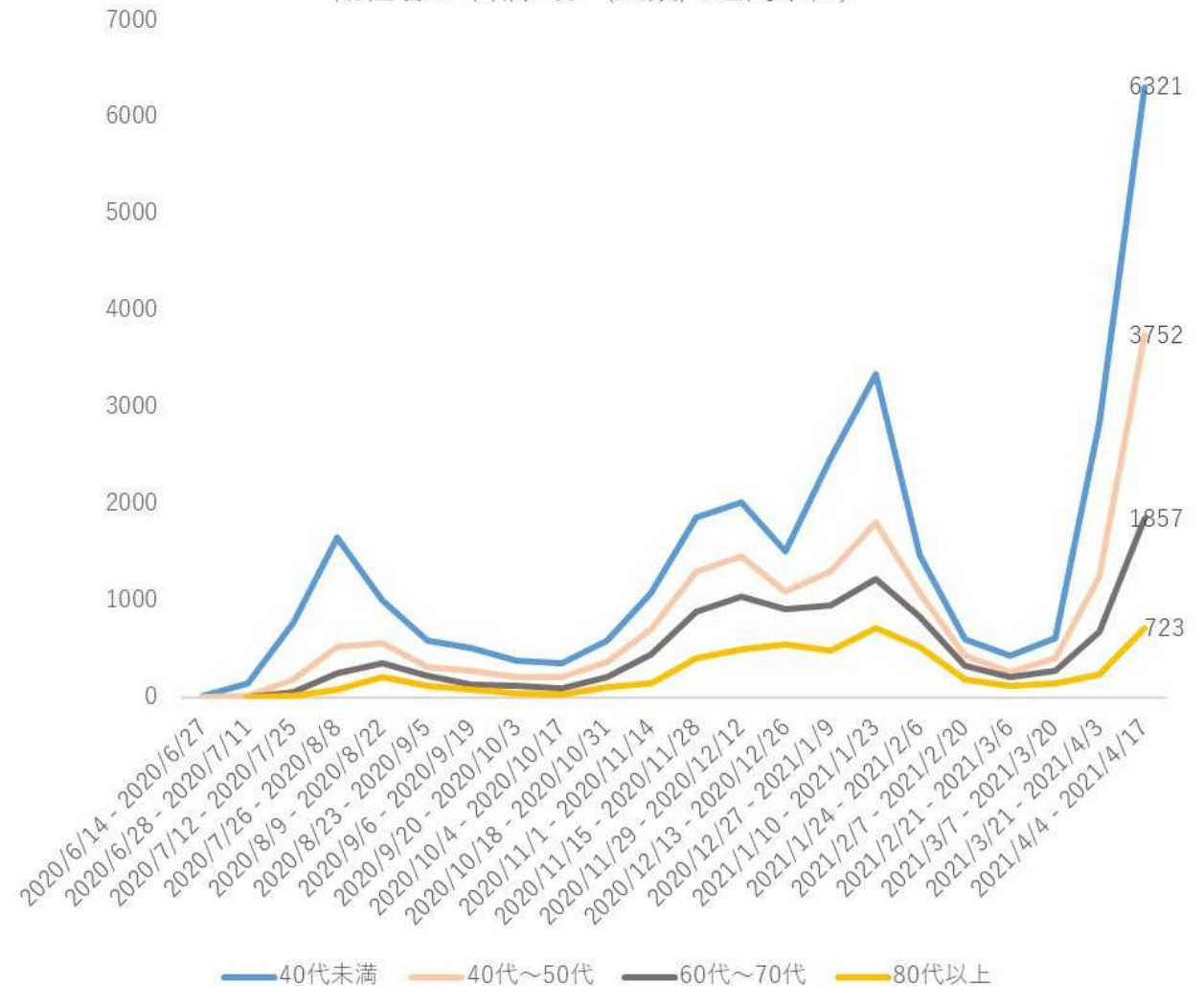
直近2週間で40代未満の割合は5割と依然高く、実数でも急増。

(6月14日以降4月17日までに判明した64,964事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)

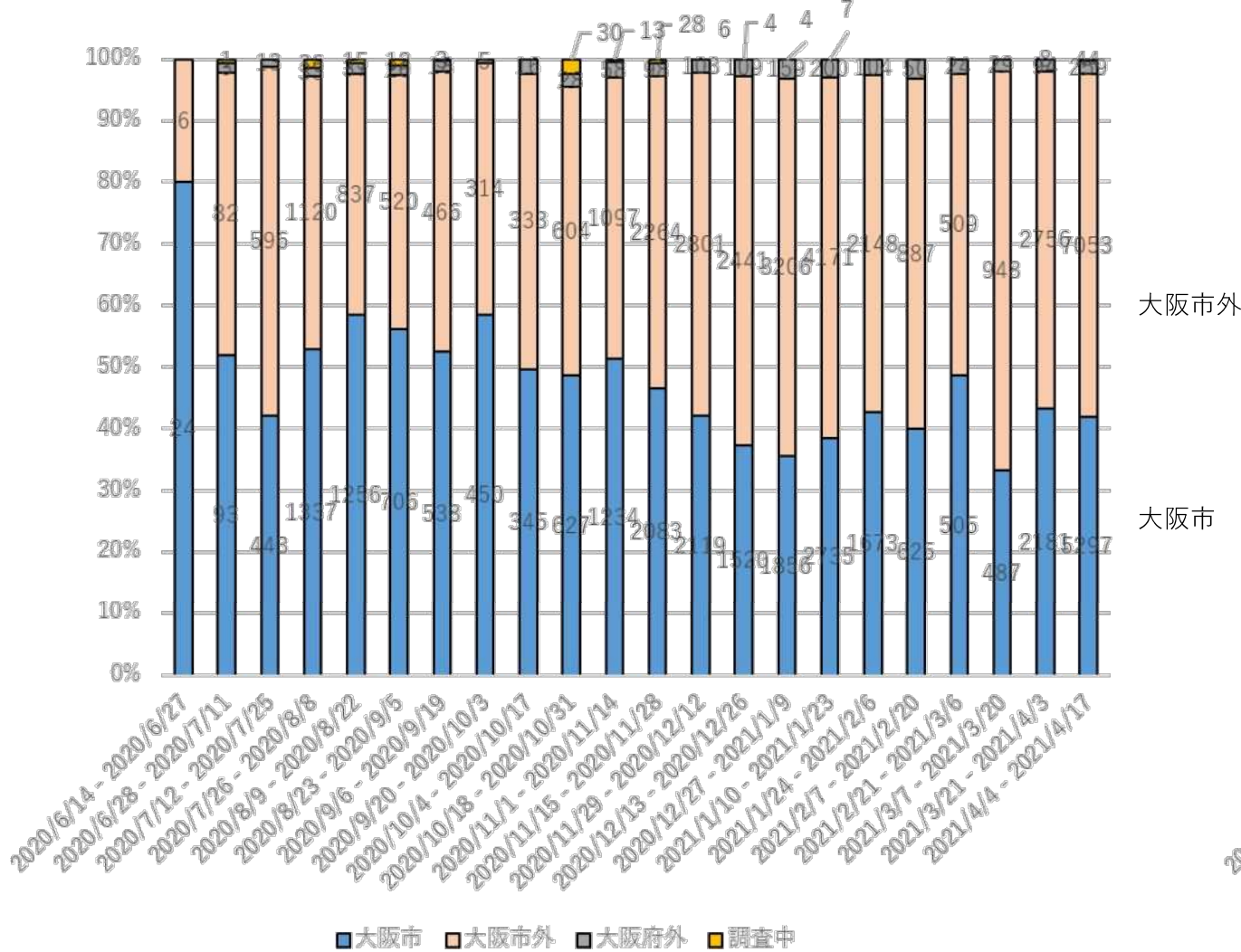


陽性者の居住地

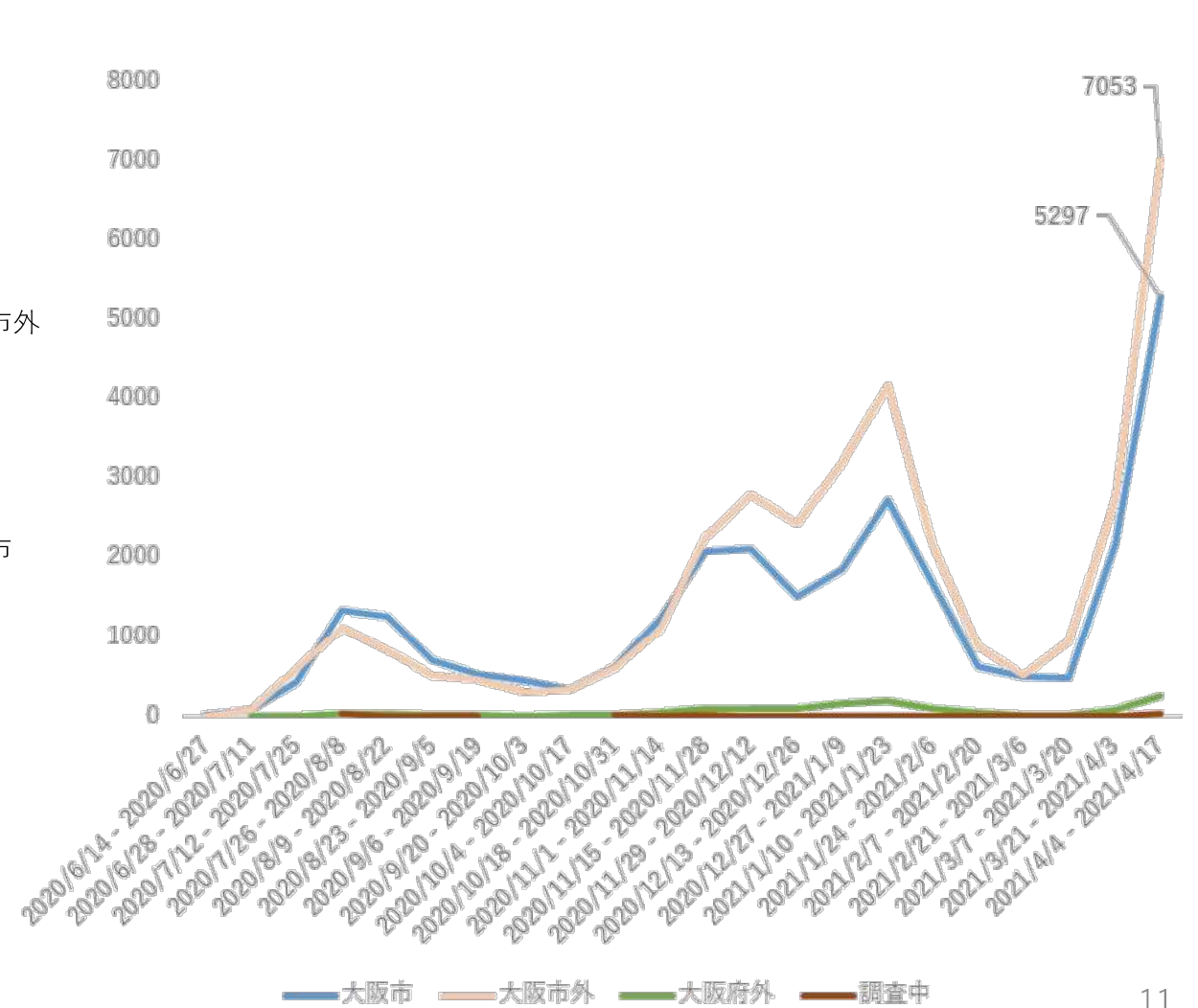
直近2週間で、大阪市内居住者は4割強、市外で6割弱であり、実数はともに急増。

(6月14日以降4月17日までに判明した64,964事例の状況)

陽性者の居住地区分 (割合, 2週間単位)



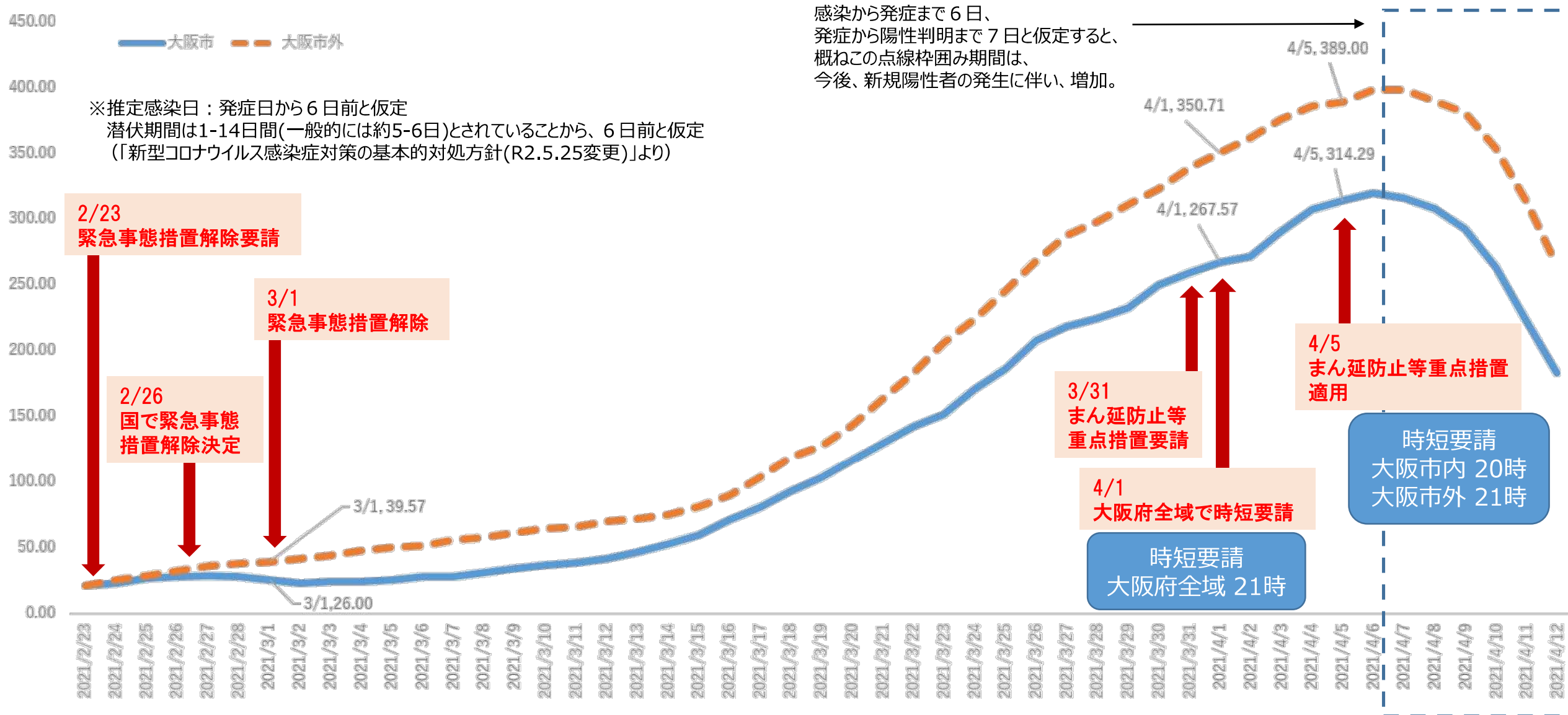
陽性者の居住地区分 (実数, 2週間単位)



推定感染日別新規陽性者数（大阪市・市外 7日間移動平均）

※市内外は居住地による
 ※発症日が調査中、不明、無症状等を除く

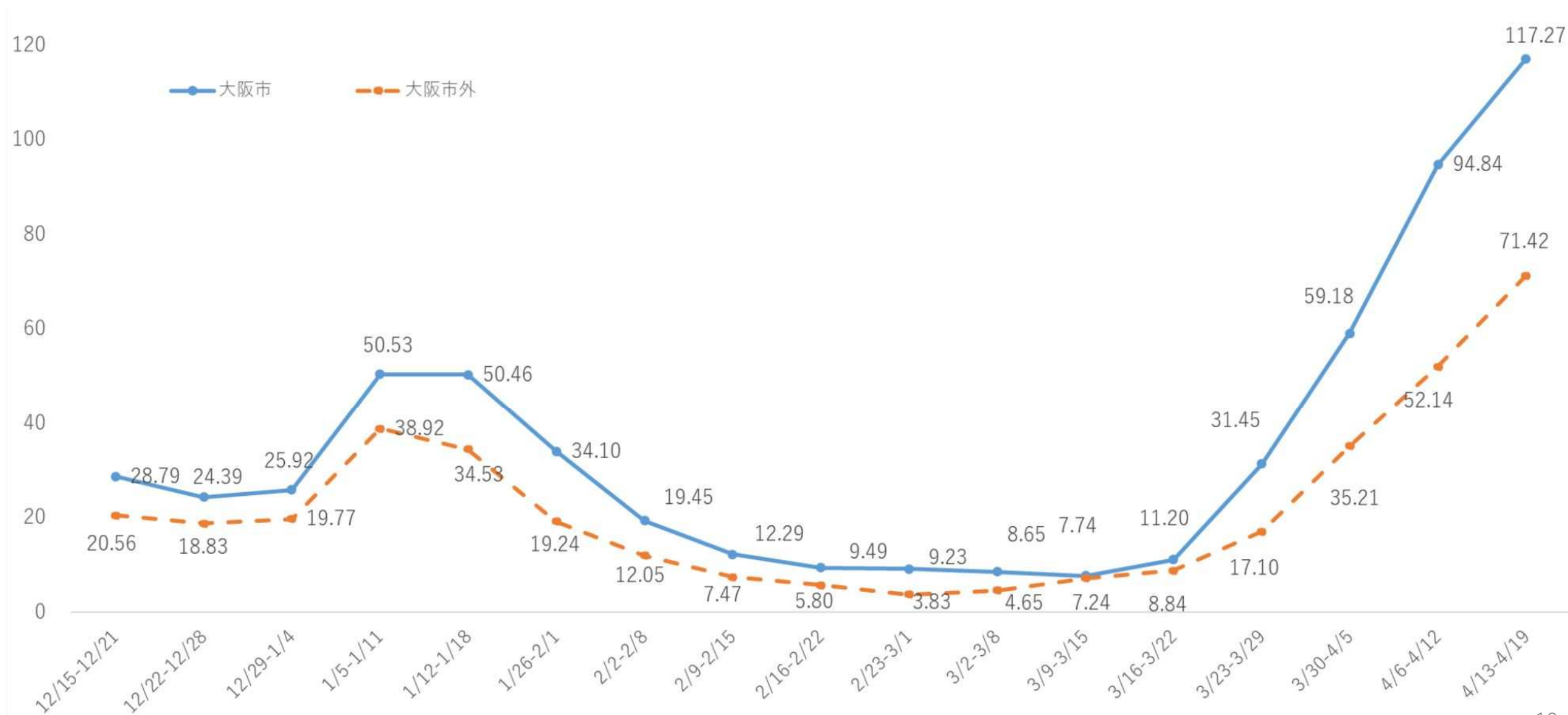
4/1より府全域で時短要請（21時まで）を行っているが、4/1以降に感染したと推定される市外の新規陽性者は増加。
 4/5より市内を対象に時短要請（20時まで）を行っているが、4/5、6に感染したと推定される市内外の新規陽性者は増加。



大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり 1週間単位）

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

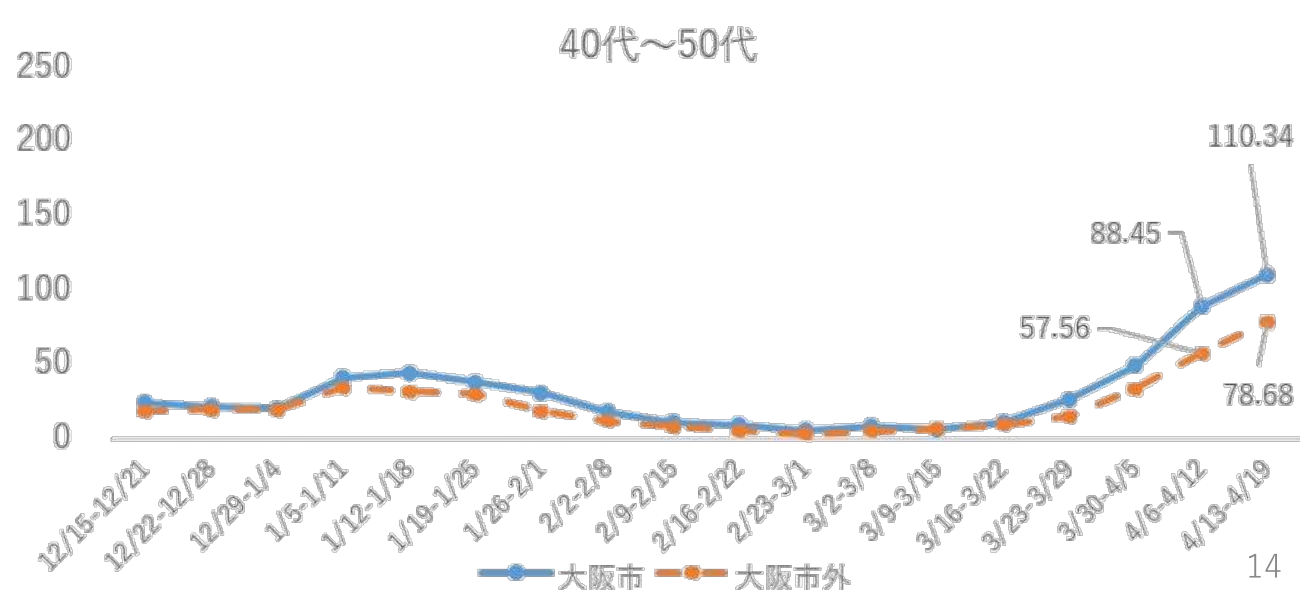
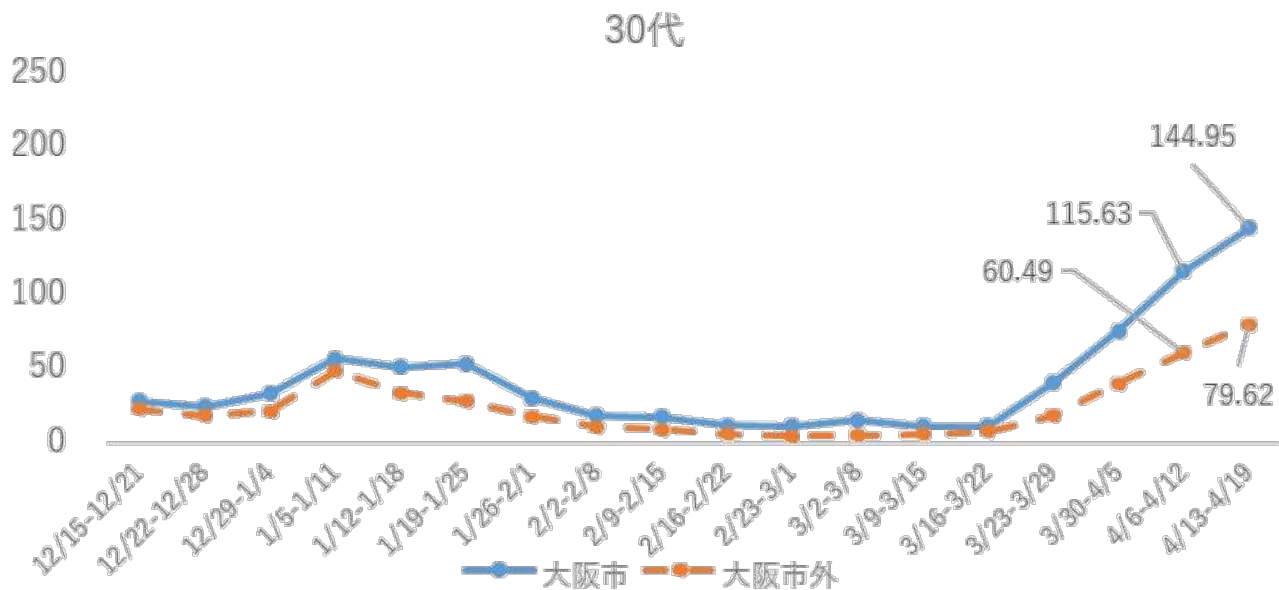
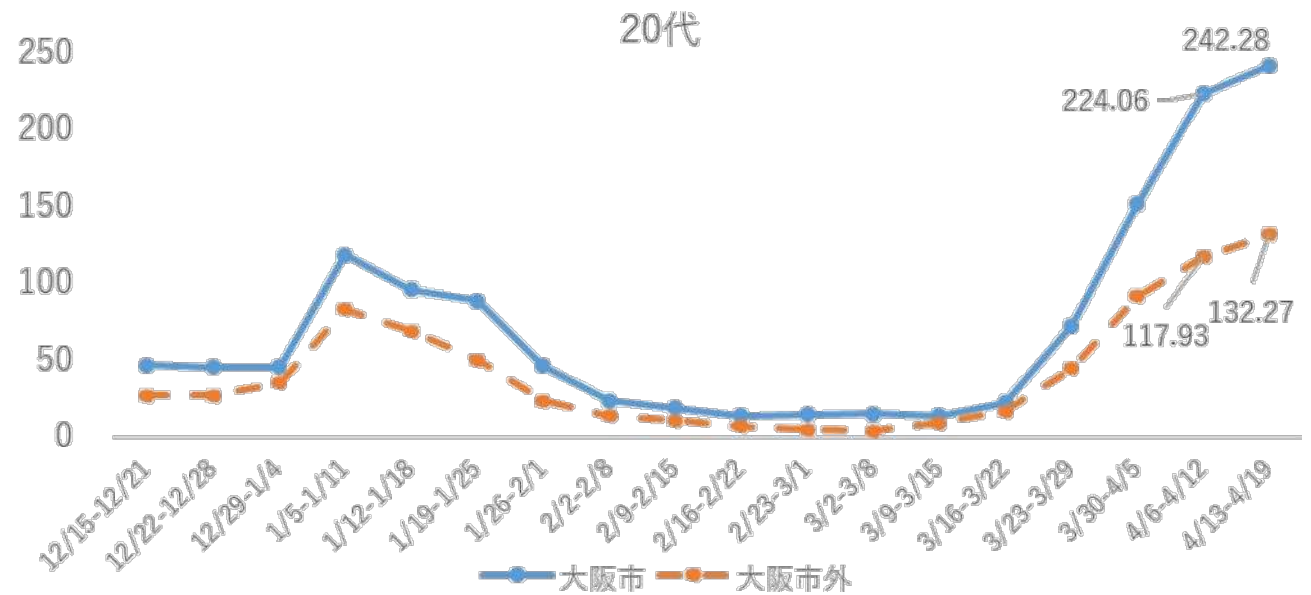
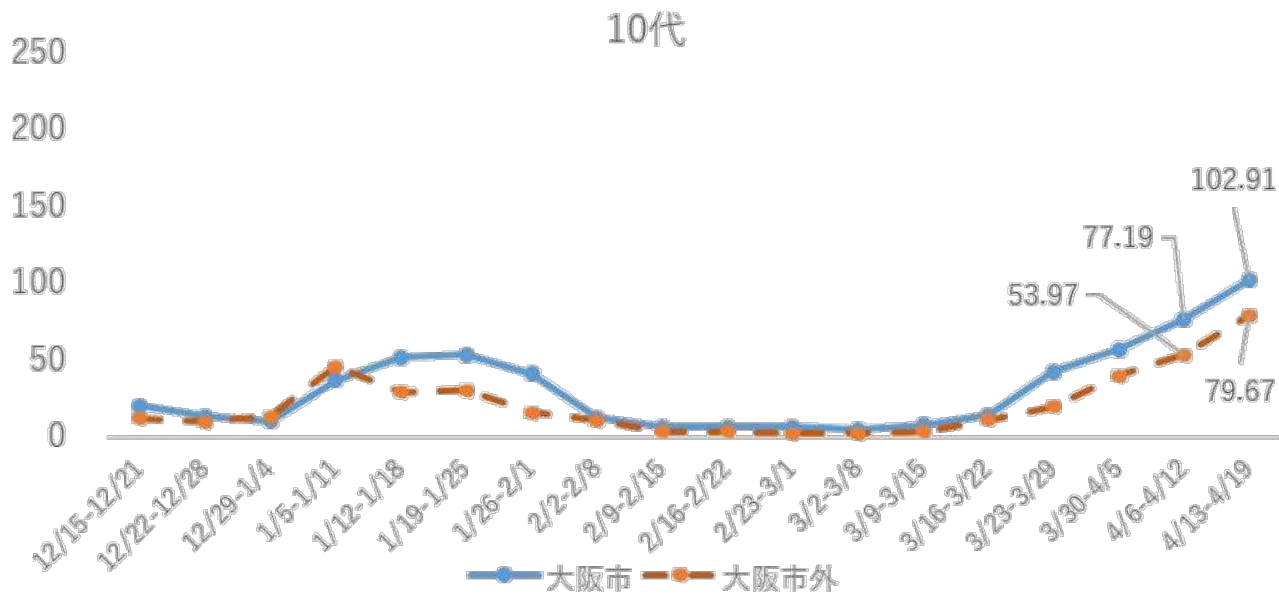
直近4週間で、大阪市内居住者は約10倍、大阪市外居住者は約8倍と急増。



大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

直近4週間で、人口10万人あたり新規陽性者数は、市内外・各年代で急増。

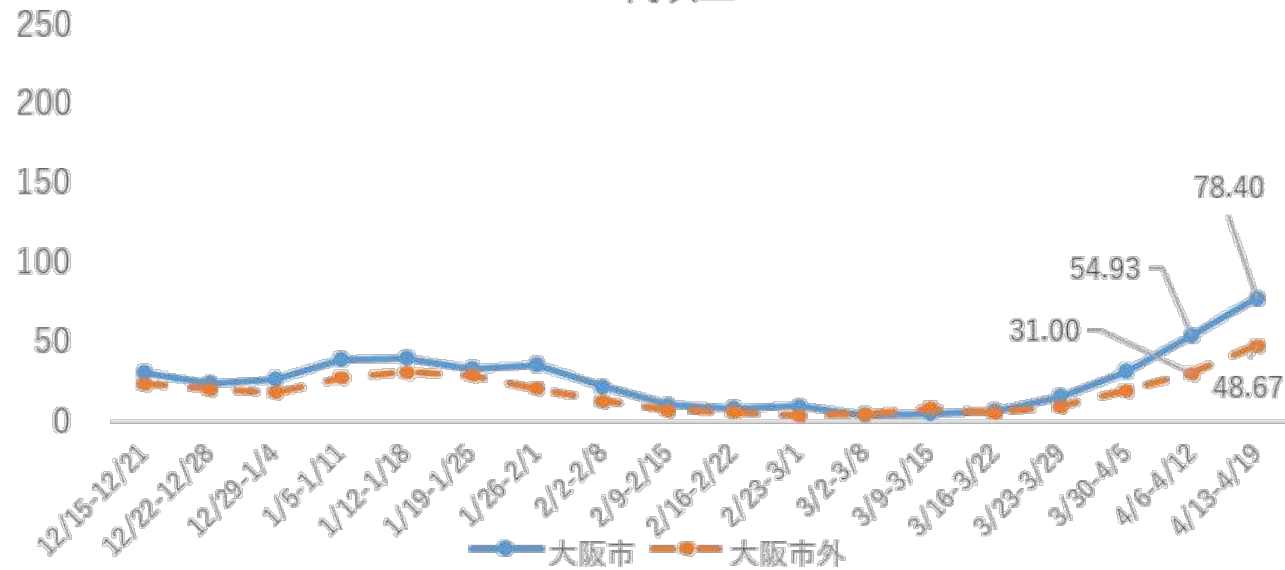


大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

直近4週間で、60代以上の人口10万人あたり新規陽性者数は、市内外ともに急増。

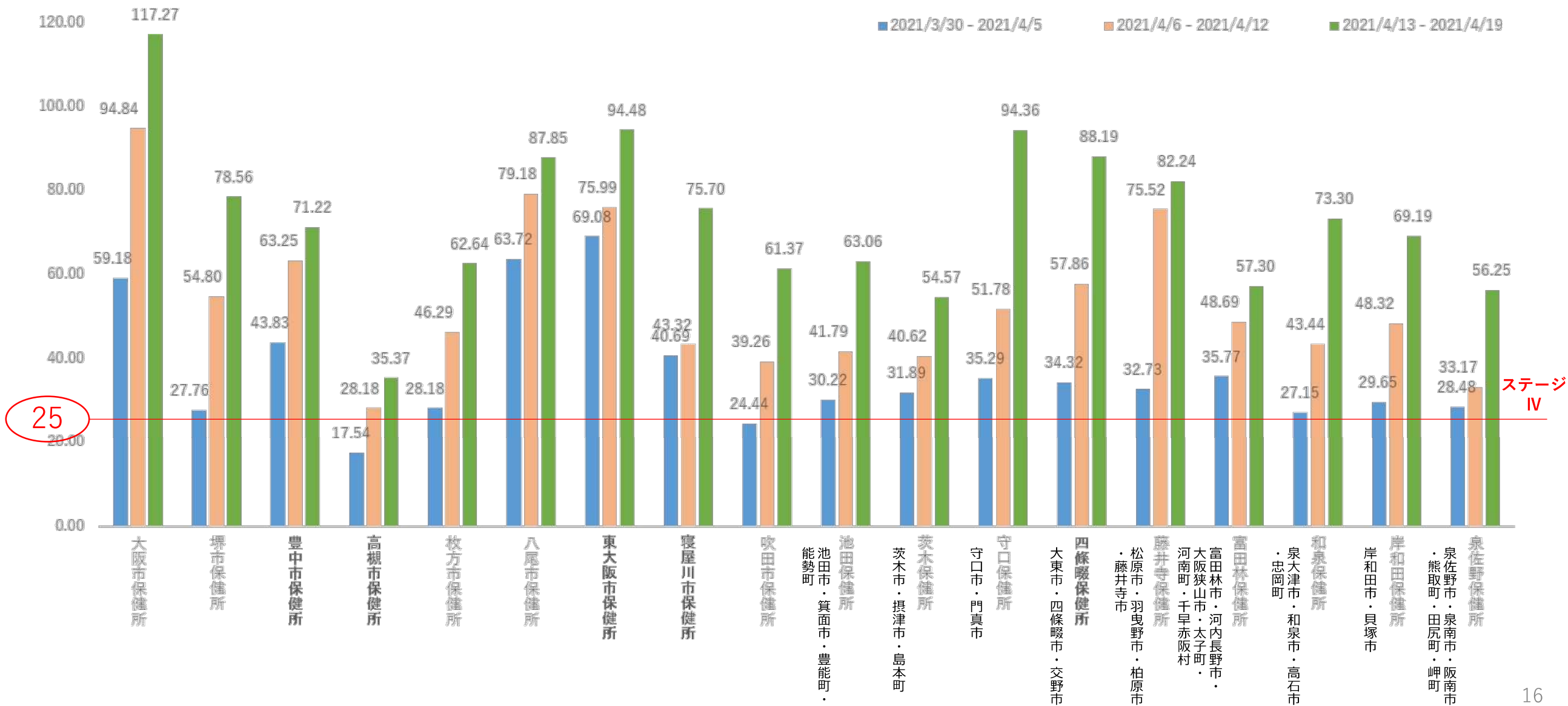
60代以上



保健所管内別陽性者比較（人口10万人あたり）

※居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

いずれの保健所管内も、ステージⅣの基準を大きく超過。

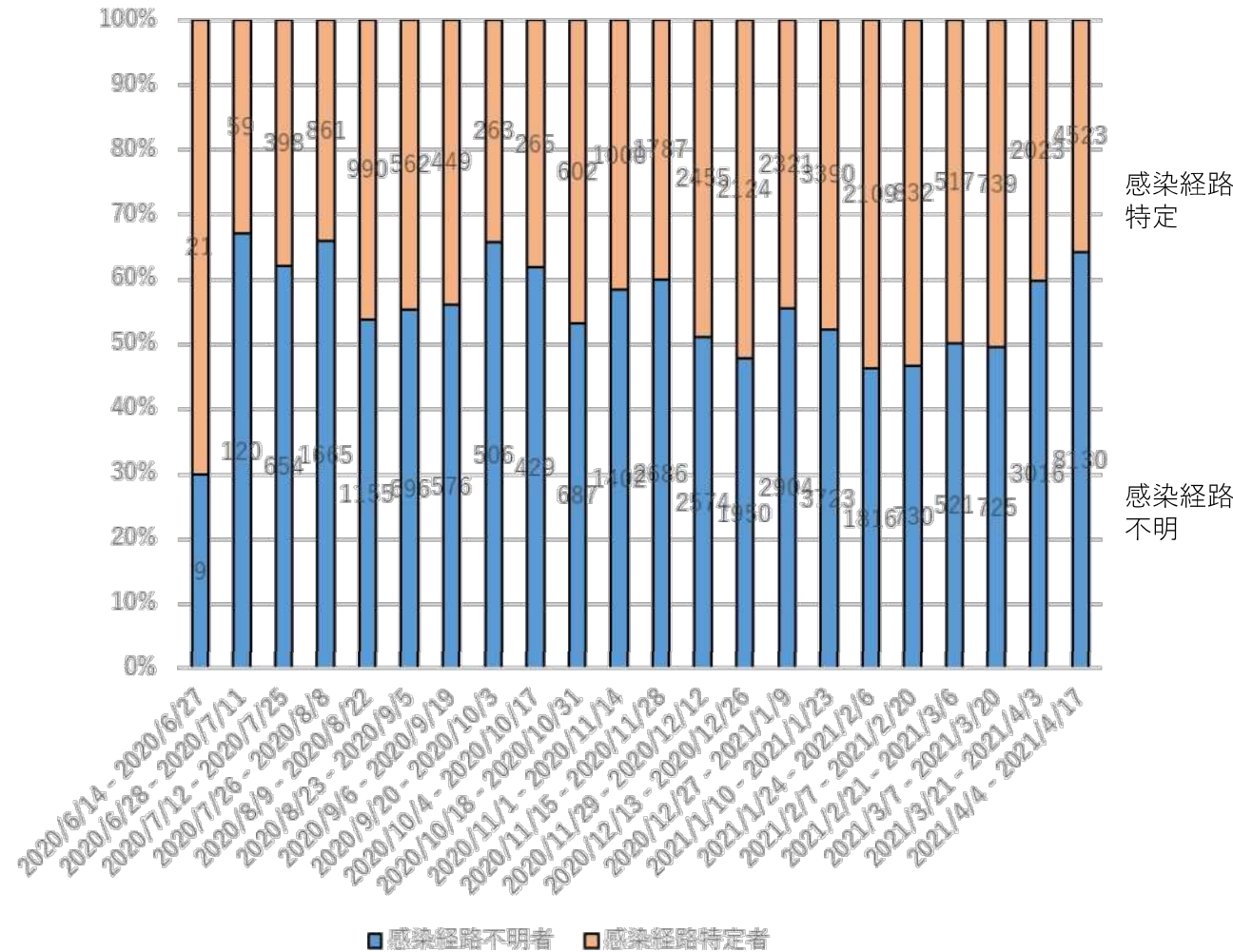


陽性者の感染経路の状況

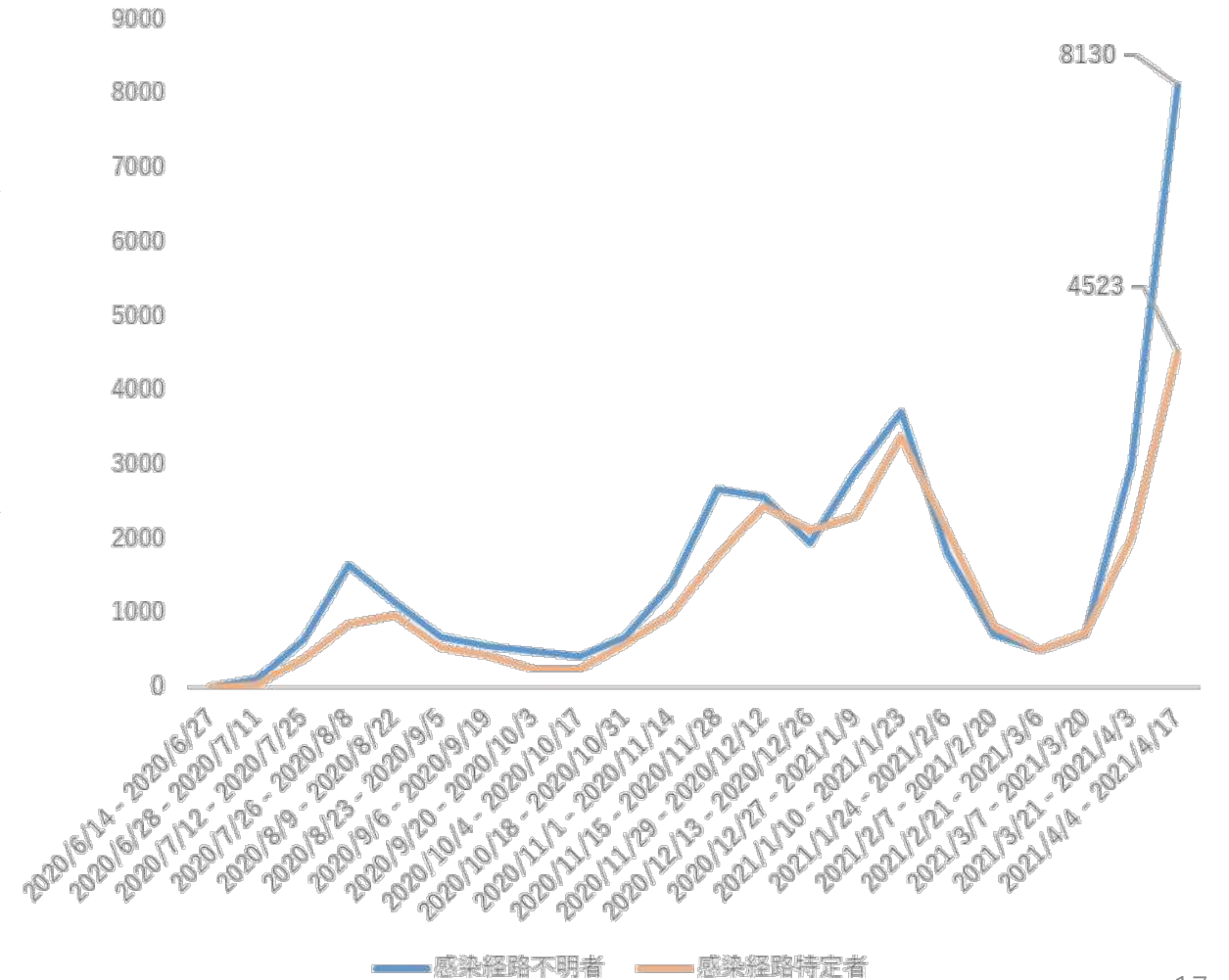
直近2週間で、感染経路不明の割合が6割を超え、実数でも感染経路不明者数が急増。

(6月14日以降4月17日までに判明した64,964事例の状況)

感染経路の状況 (割合)



感染経路の状況 (実数)

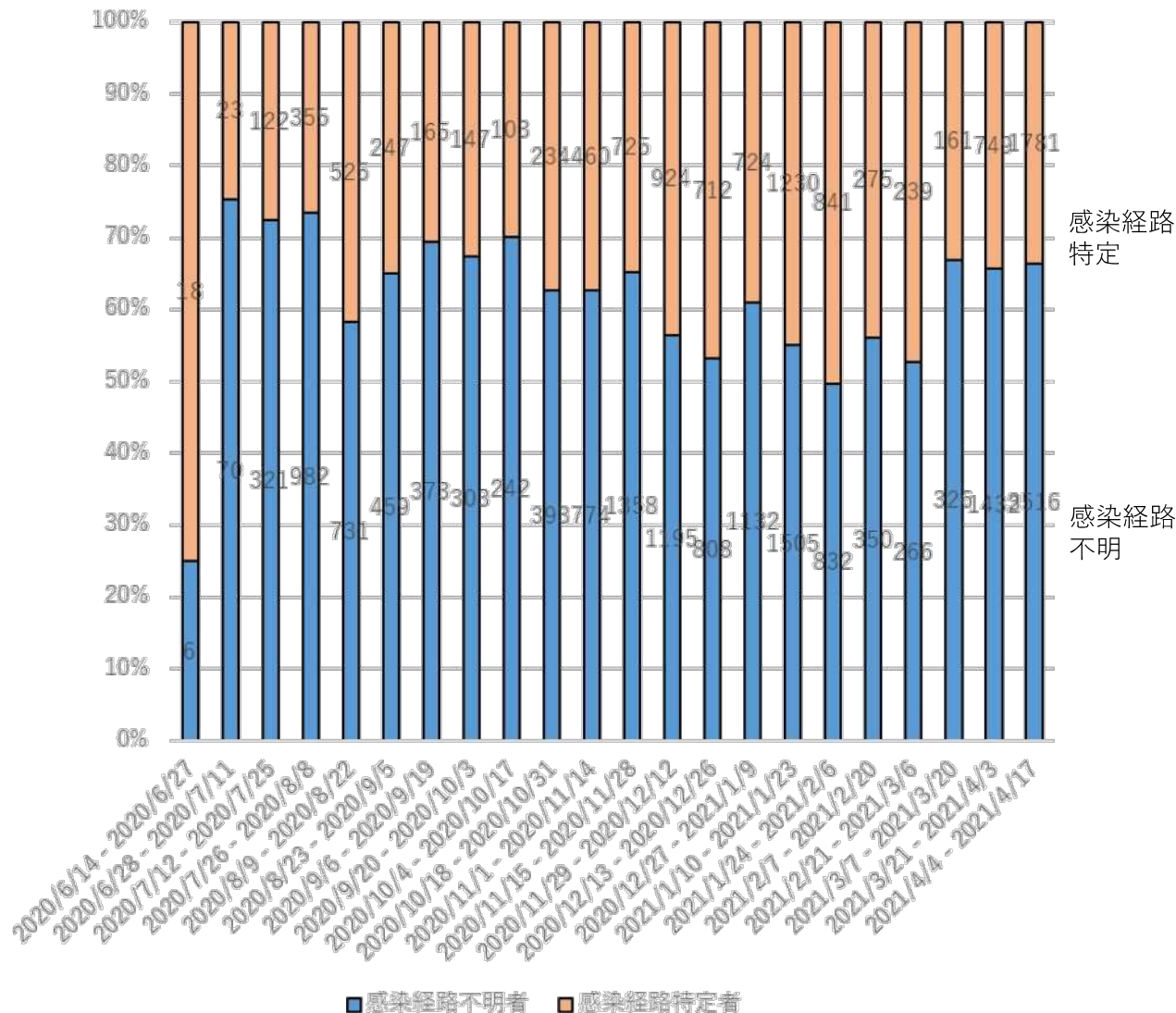


陽性者の感染経路の状況（大阪市内外）

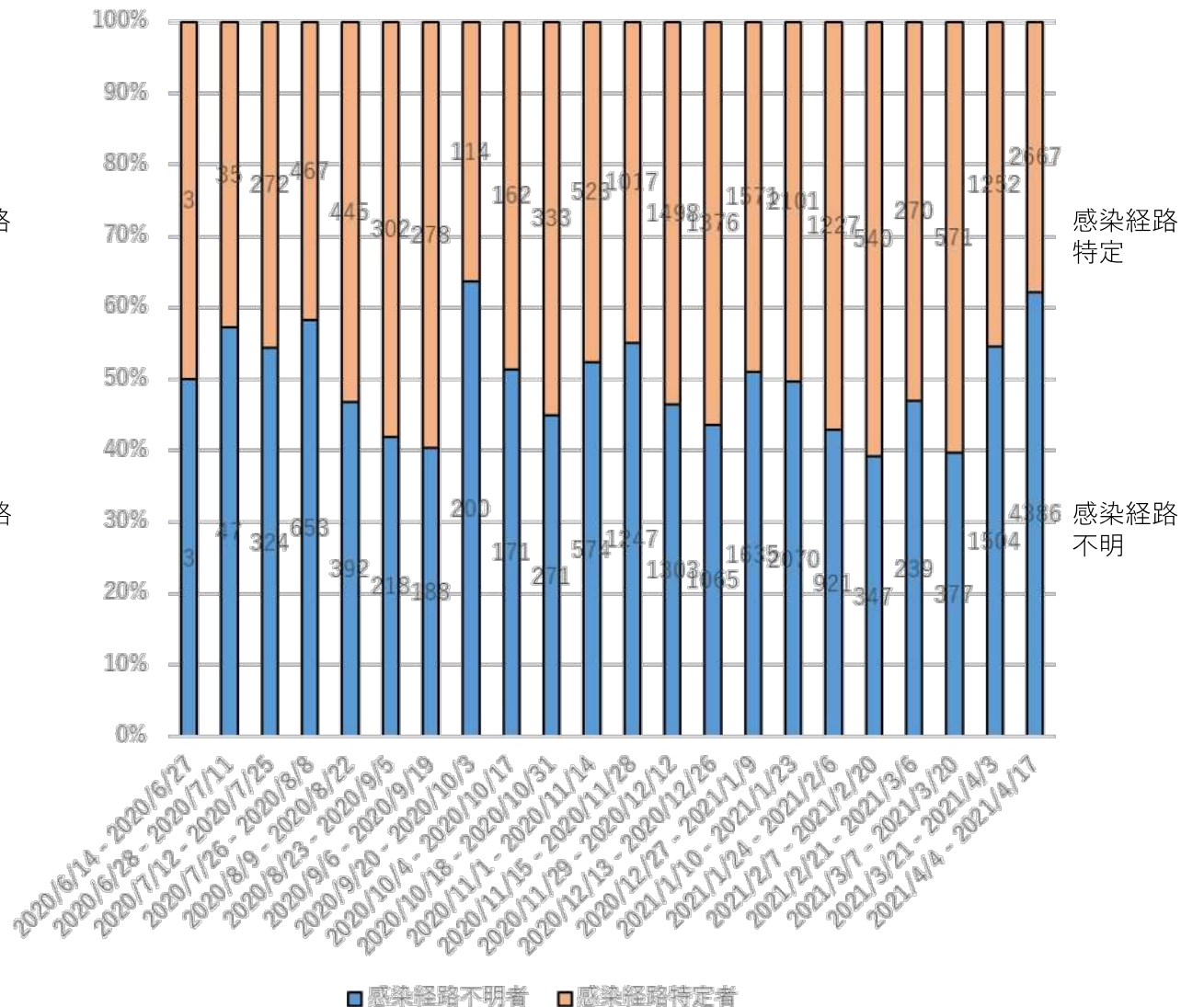
※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

直近2週間における感染経路不明割合は、市内居住者が7割弱と依然高く、市外居住者も急増し、6割を超過。

感染経路の状況（大阪市）



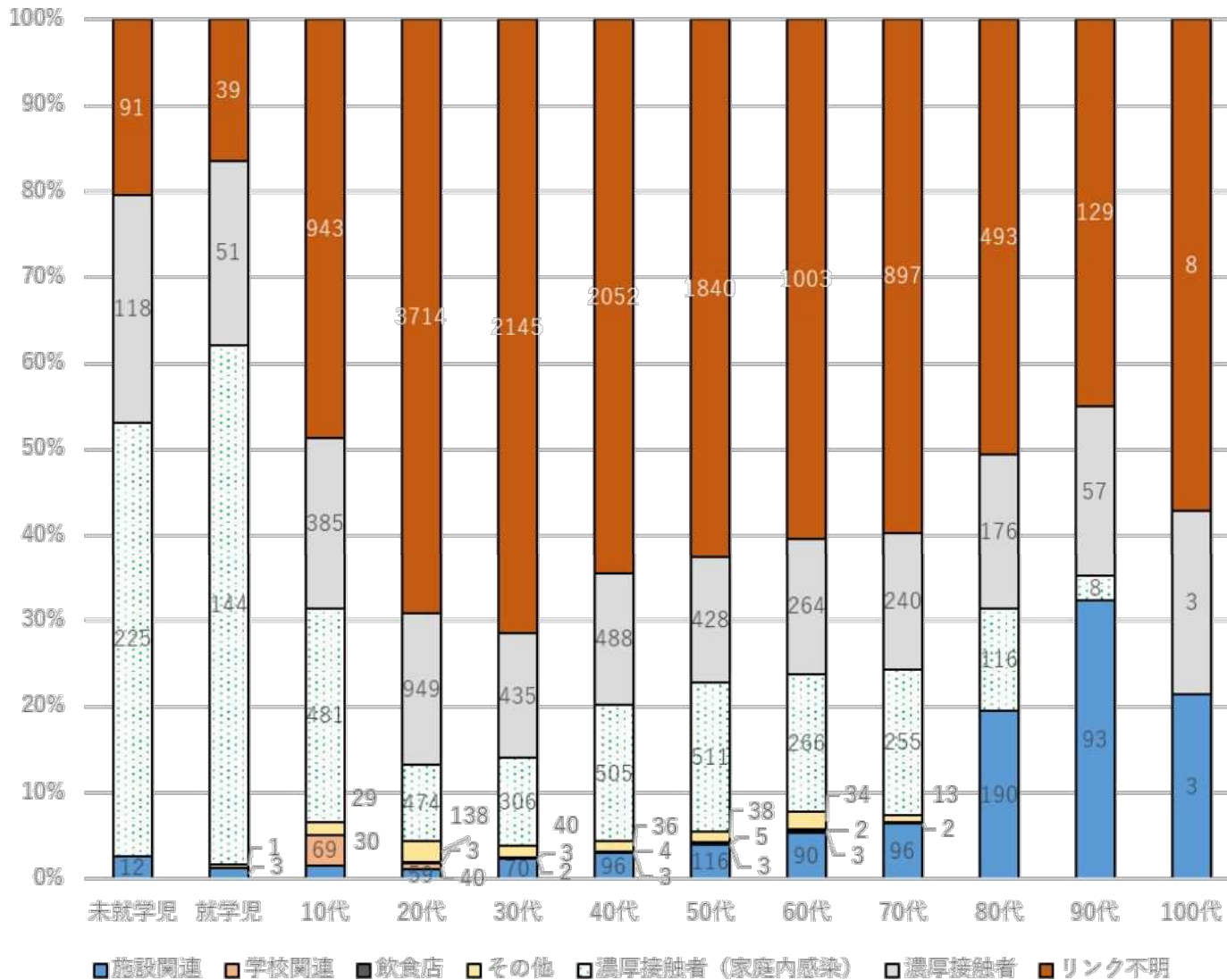
感染経路の状況（大阪市内外）



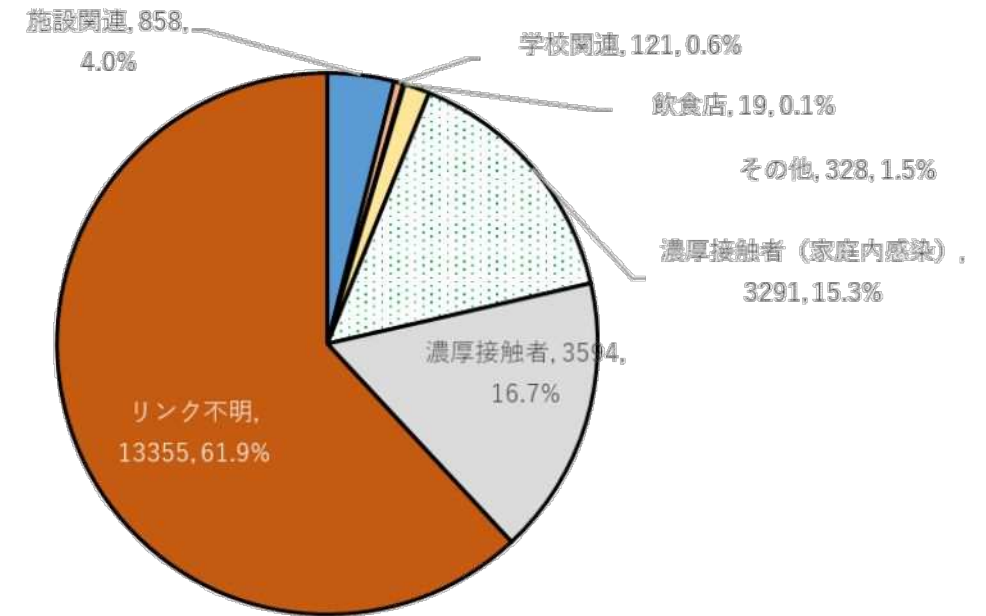
感染経路（第四波）

（3月1日以降4月19日までに判明した21,566事例の状況）

年代別感染経路



全年代感染経路



< 全年代感染経路 >

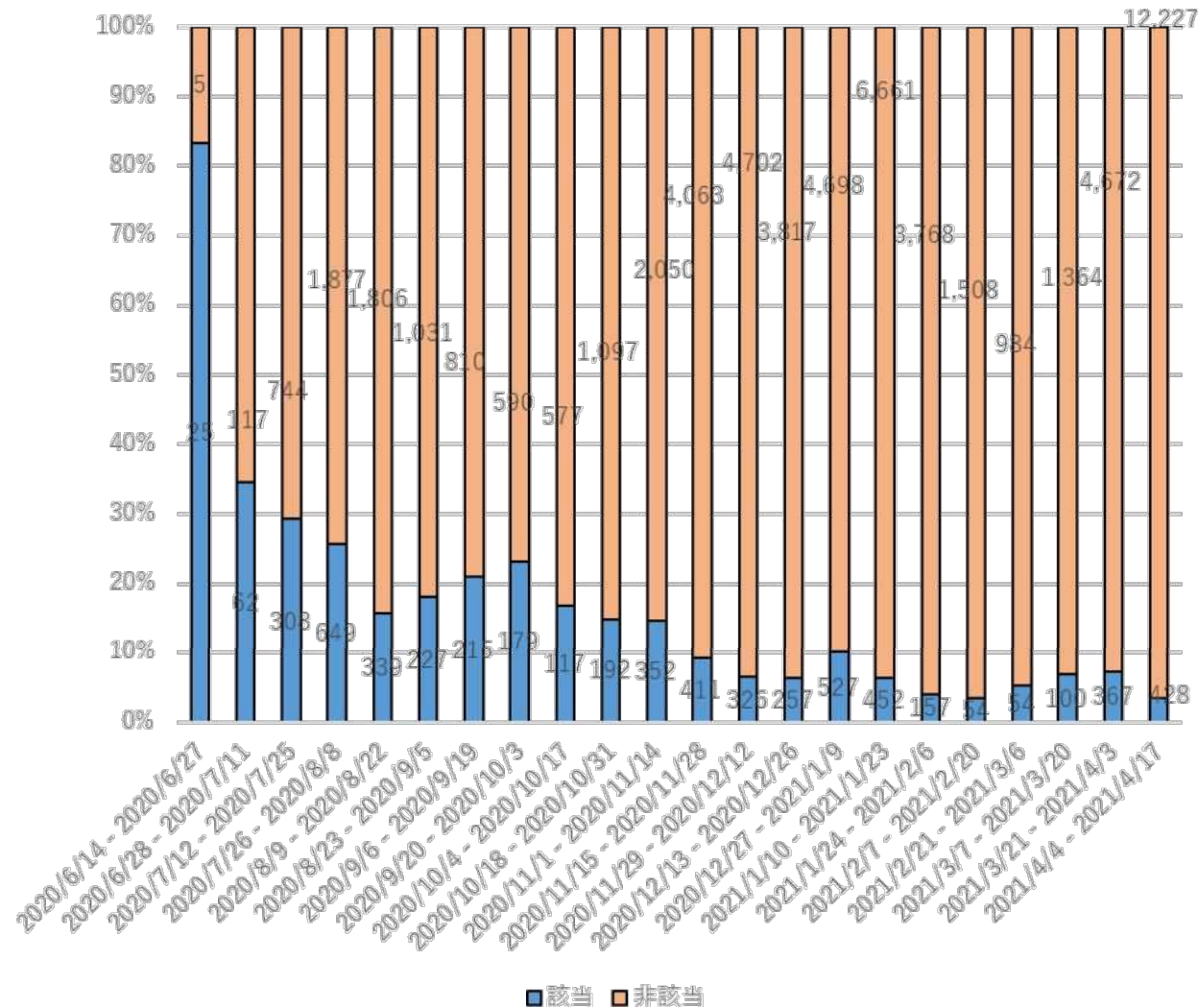
時点	施設関連	学校関連	飲食店	その他	濃厚接触者(家庭内感染)	濃厚接触者	リンク不明
第二波	7.7%	0.5%	0.5%	0.4%	12.3%	18.6%	60.0%
第三波	13.0%	1.2%	0.2%	1.4%	16.7%	14.8%	52.7%
第四波 (4/19まで)	4.0%	0.6%	0.1%	1.5%	15.3%	16.7%	61.9%

夜の街の関係者及び滞在者の状況（陽性者全体における該当者）

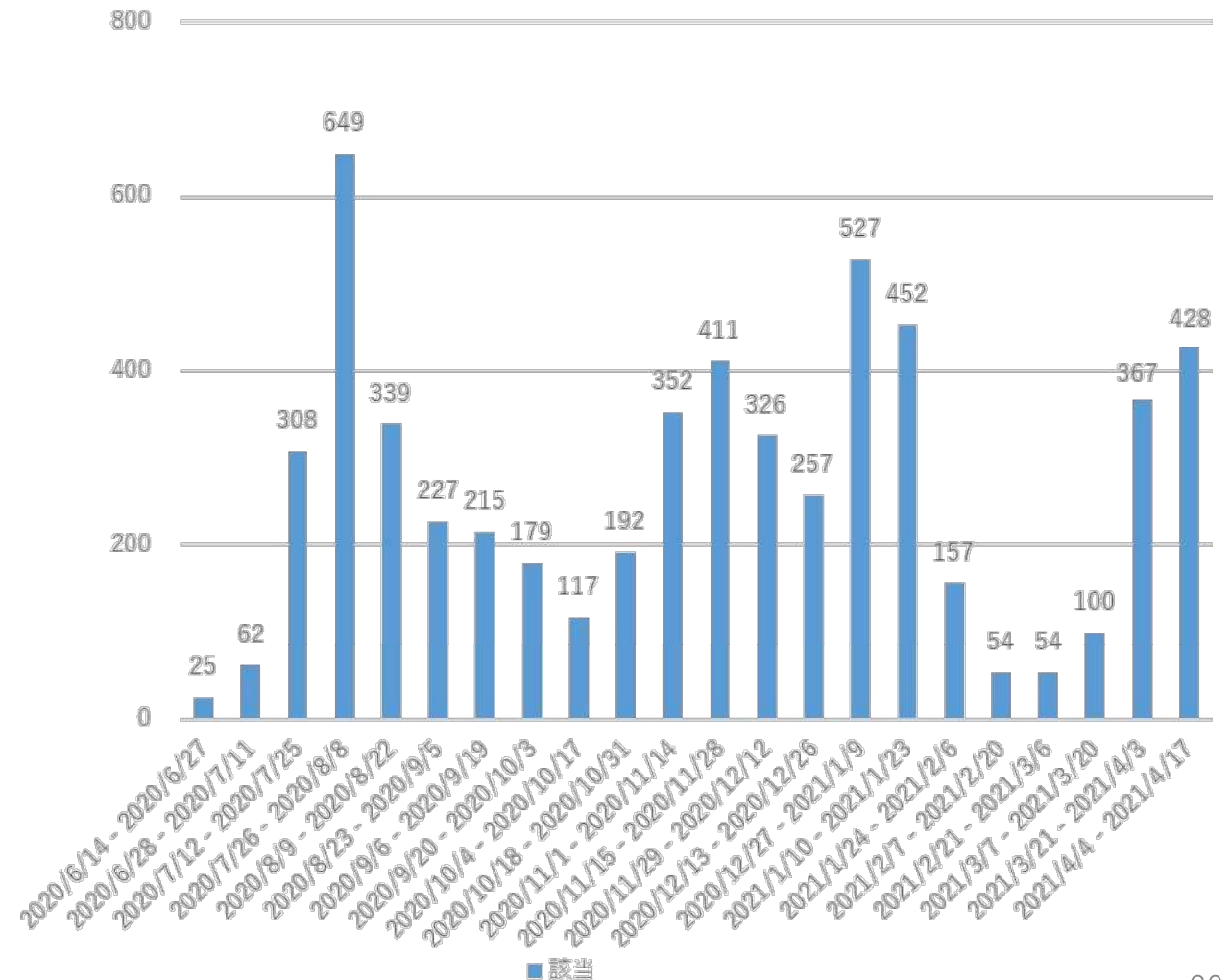
陽性者に占める夜の街の関係者及び滞在者の人数の割合は、直近2週間で減少。
 実数は、1月の緊急事態宣言発出後並み。

（6月14日以降4月17日までに判明した64,964事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：実数）

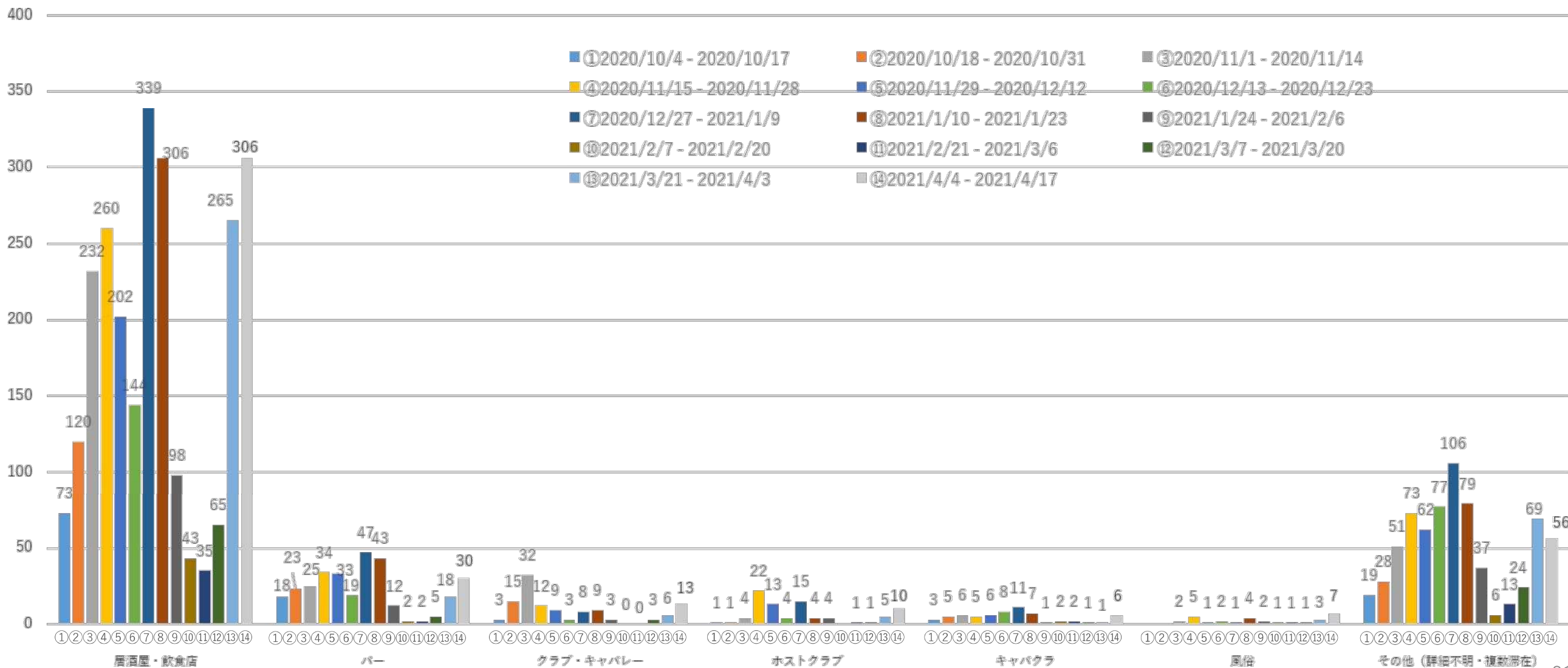


※該当・非該当は本人からの聞き取り情報による

夜の街の滞在分類別の状況

夜の街の滞在分類として、居酒屋・飲食店は依然多く、1月の緊急事態宣言発出後並み。

(10月4日以降4月17日までに判明した3,794事例の状況)

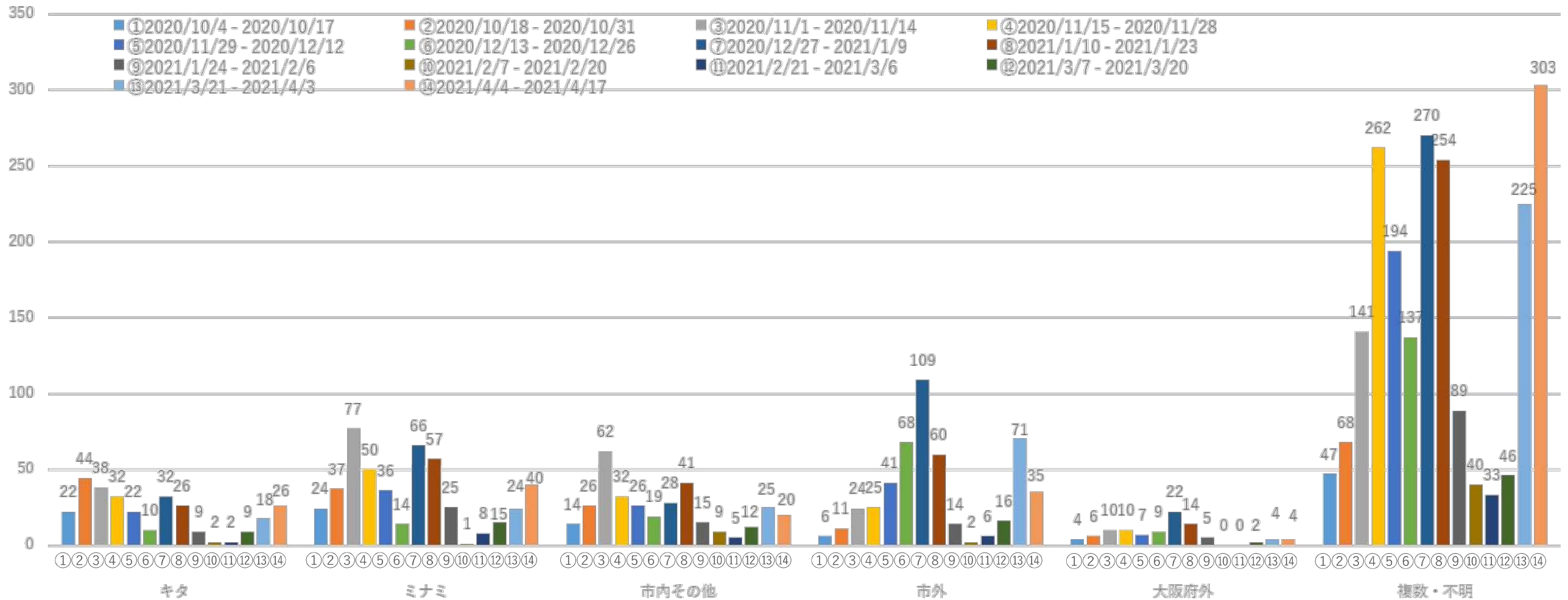


※滞在先の分類は本人からの聞き取り情報による

夜の街の滞在エリア別の状況

夜の街の滞在エリアは、キタ・ミナミともに、緊急事態宣言解除後、増加し続けている。

(10月4日以降4月17日までに判明した3,794事例の状況)

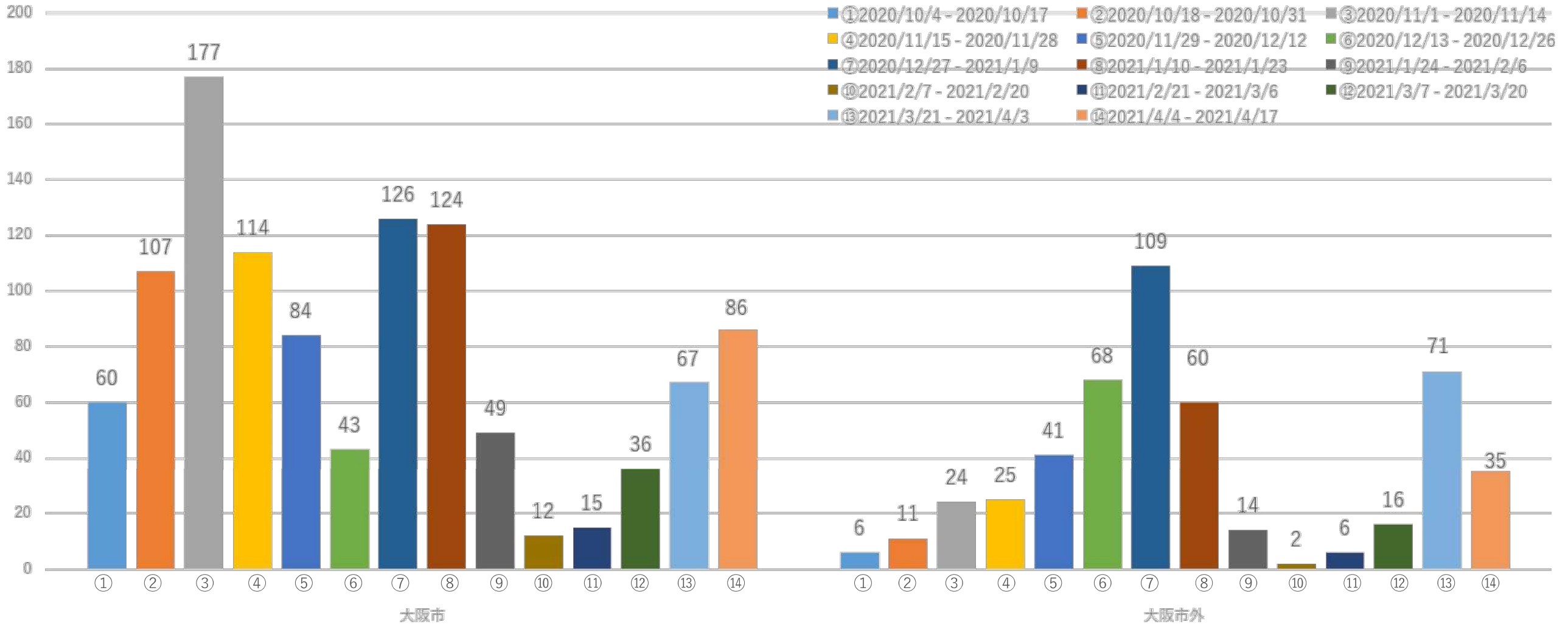


※滞在エリアの分類は本人からの聞き取り情報による

夜の街の滞在エリア別の状況

夜の街の滞在エリアは、大阪市は緊急事態宣言解除後、増加し続けている。市外は直近2週間でやや減少。

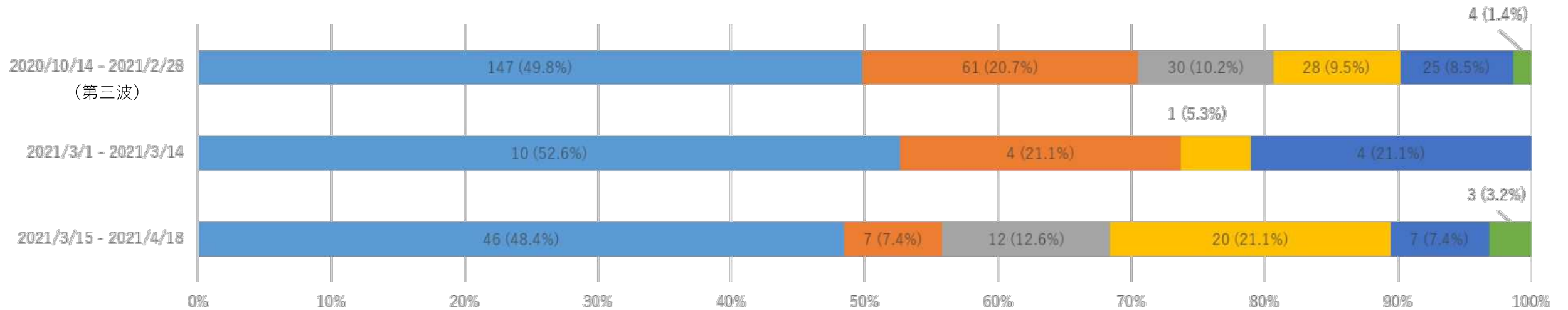
(10月4日以降4月17日までに判明した3,794事例の状況)



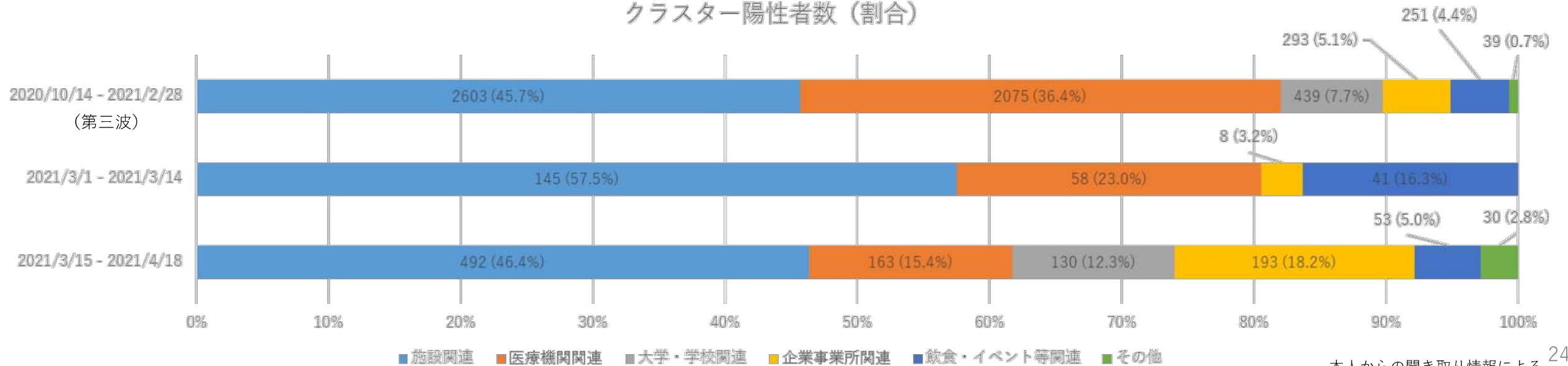
第三波から第四波にかけてのクラスター状況

第四波当初(三月上旬から中旬)は、飲食・イベント等関連の割合が多かったが、三月中旬以降減少し、企業事業所関連が急増。大学・学校関連の割合も増加。

クラスター数 (割合)



クラスター陽性者数 (割合)

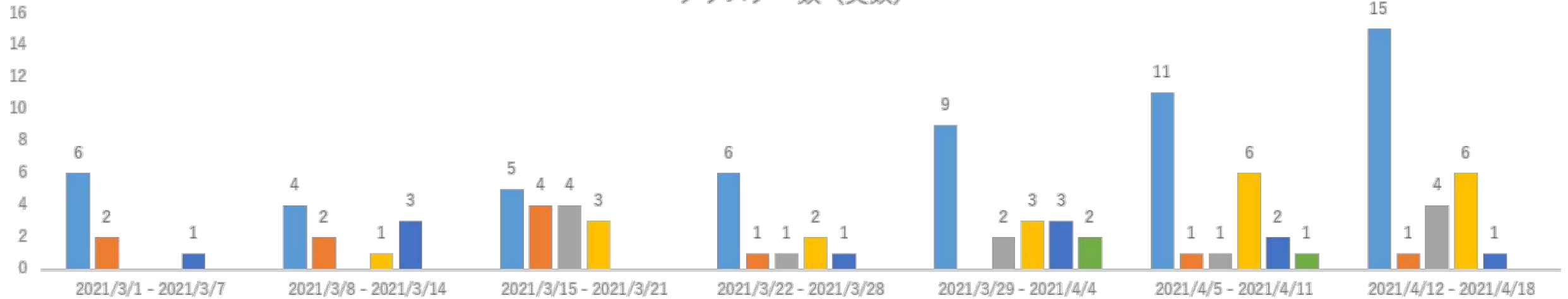


■施設関連 ■医療機関関連 ■大学・学校関連 ■企業事業所関連 ■飲食・イベント等関連 ■その他

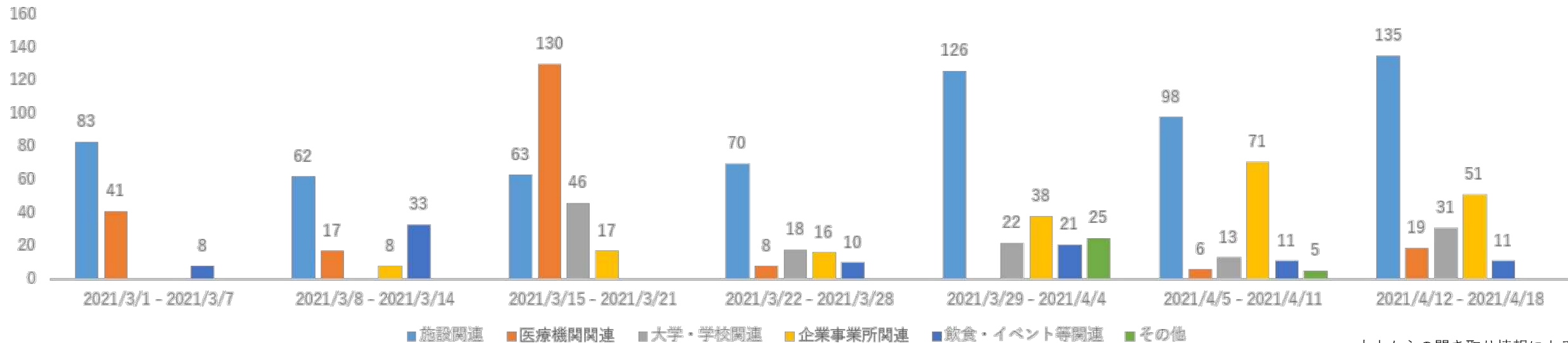
第四波のクラスター状況

クラスターは、種別・陽性者数ともに、直近1か月で施設関連及び企業事業所関連が急増。
大学・学校関連は3月中旬以降、一定数発生。

クラスター数（実数）



クラスター陽性者数（実数）

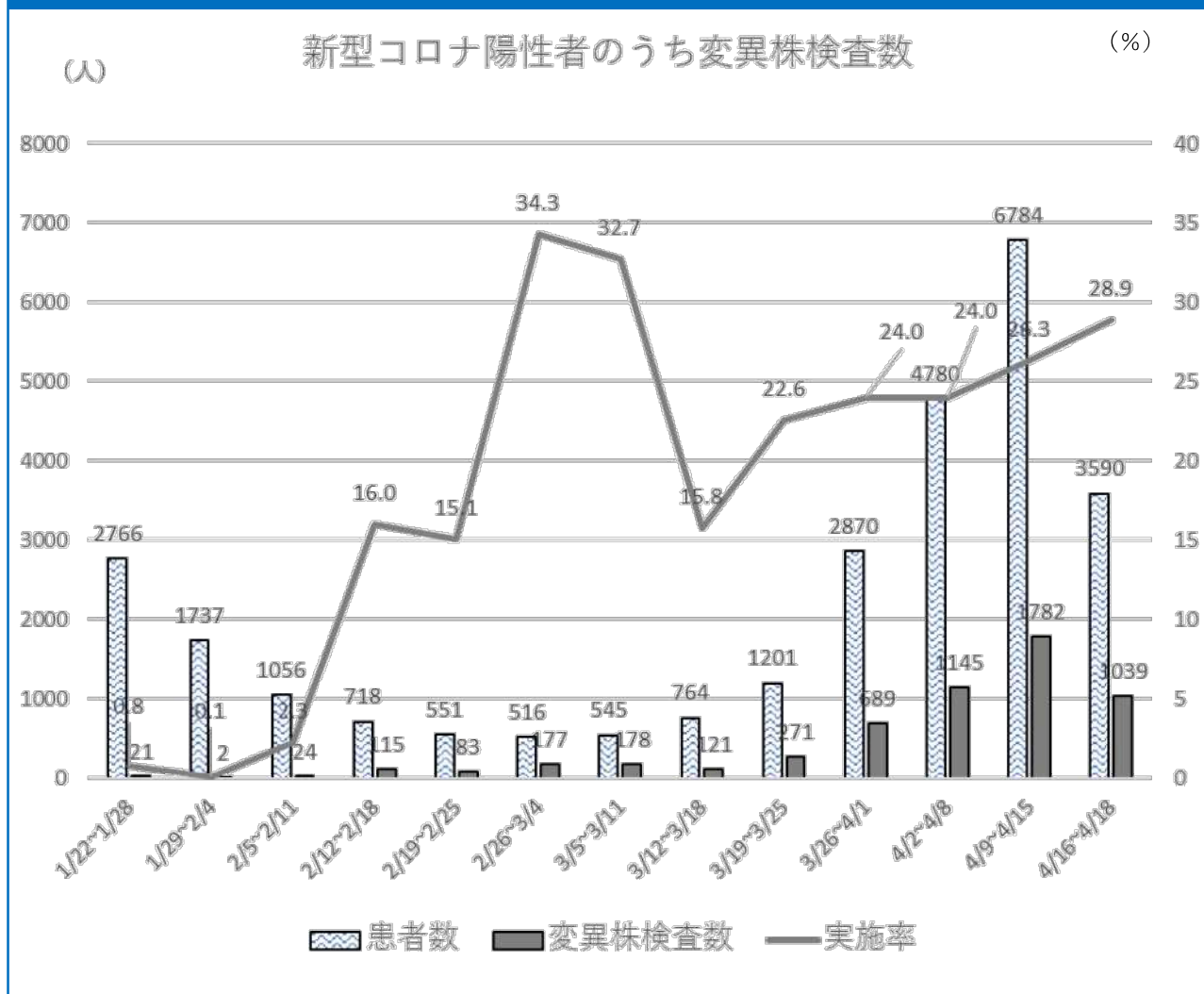


変異株PCRの実施率及び陽性率

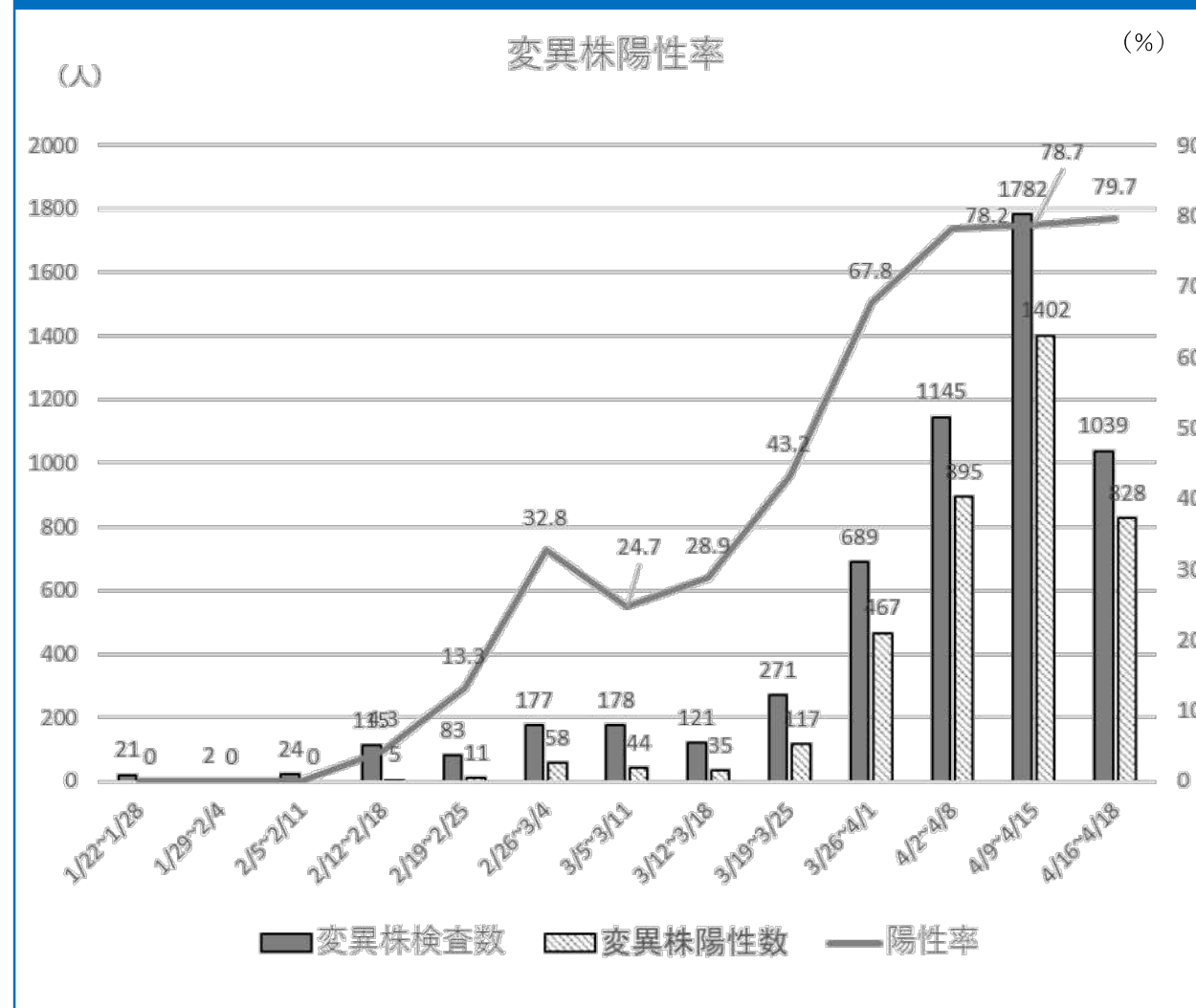
資料 1 - 2

- 患者数は当該週に公表された人数、変異株検査数及び陽性数は当該週に結果判明した件数として、変異株PCR検査の実施率及び陽性率を算出。
- 変異株PCR検査件数は、府が民間検査機関等※¹に委託している検査の他、厚生労働省が民間検査機関※²と契約し変異株PCRを実施した件数も含む。
- ※¹：地方衛生研究所、阪大微生物病研究会、病院（1月下旬以降、順次拡充。現在、週当たり最大600件程度を実施）
- ※²：SRL（2/8から報告）、BML（3/26から報告）、LSIメディエンス（4/7から報告）

新規患者数及び変異株PCR検査数（実施率）

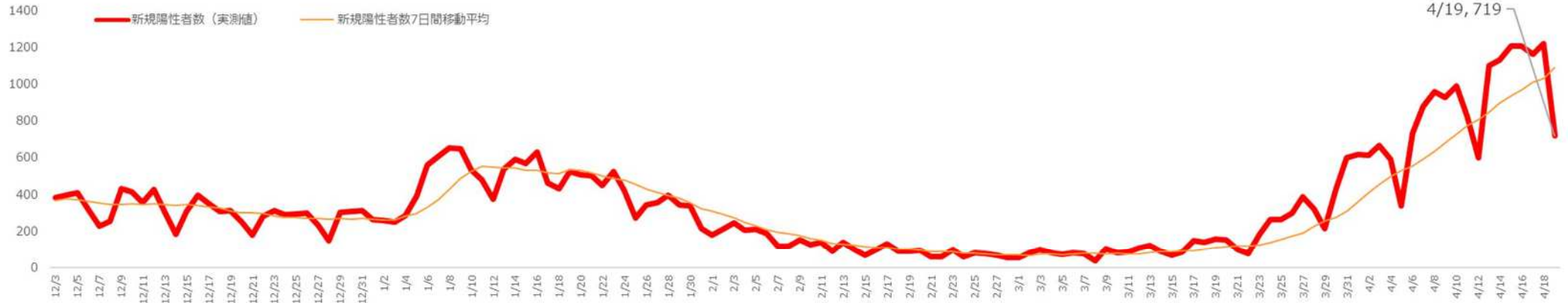


変異株PCR検査数のうち陽性割合（陽性率）



新規陽性者数と入院・療養者数 (4月19日時点)

資料1 - 3



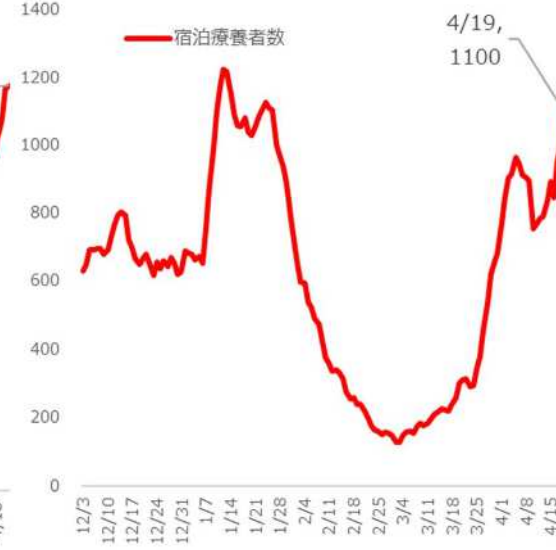
入院患者 (重症)



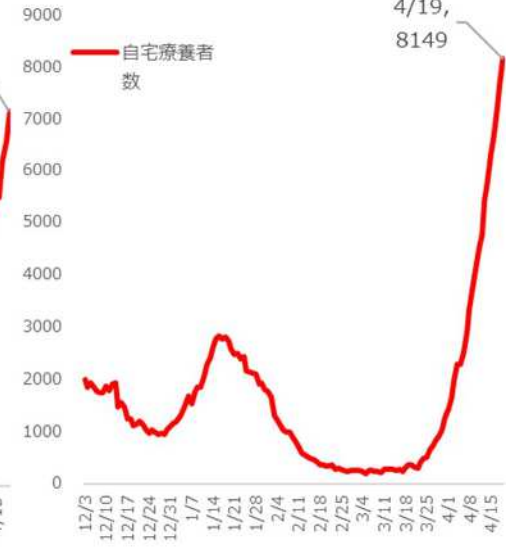
入院患者 (軽症中等症)



宿泊療養者



自宅療養者



入院・療養状況（4月19日時点）

		重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
確保計画	フェーズ1	75床	700床	800室
	フェーズ2	110床	1,000床	1,600室
	フェーズ3	150床	1,200床	2,400室
	フェーズ4	180床	1,500床	—
	フェーズ4-2	221床	1,800床	—
確保数等		確保数254床※ ※病床確保計画の確保病床数（224床）を上回って確保した病床数を含む。 ※大阪モデルの重症病床使用率は、病床確保計画の確保病床数224床で算出	確保数1,781床	3,059室
入院・療養者数 （別途、自宅療養 8,149人）		248人※ ※上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている重症者数54人 （計 重症者数 302人）	1,409人※ ※左記54人を含む	1100人
（使用率：入院・療養者数 ／確保病床・室数）		97.6% （248／254）	79.1% （1,409／1,781）	36.0% （1,100／3,059）
（運用率：入院・療養者数 ／実運用病床・室数）		97.6% （248／254） うち、大阪コロナ重症センター （21／21）	81.7% （1,409／1,725）	36.0% （1,100／3,059）

新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況

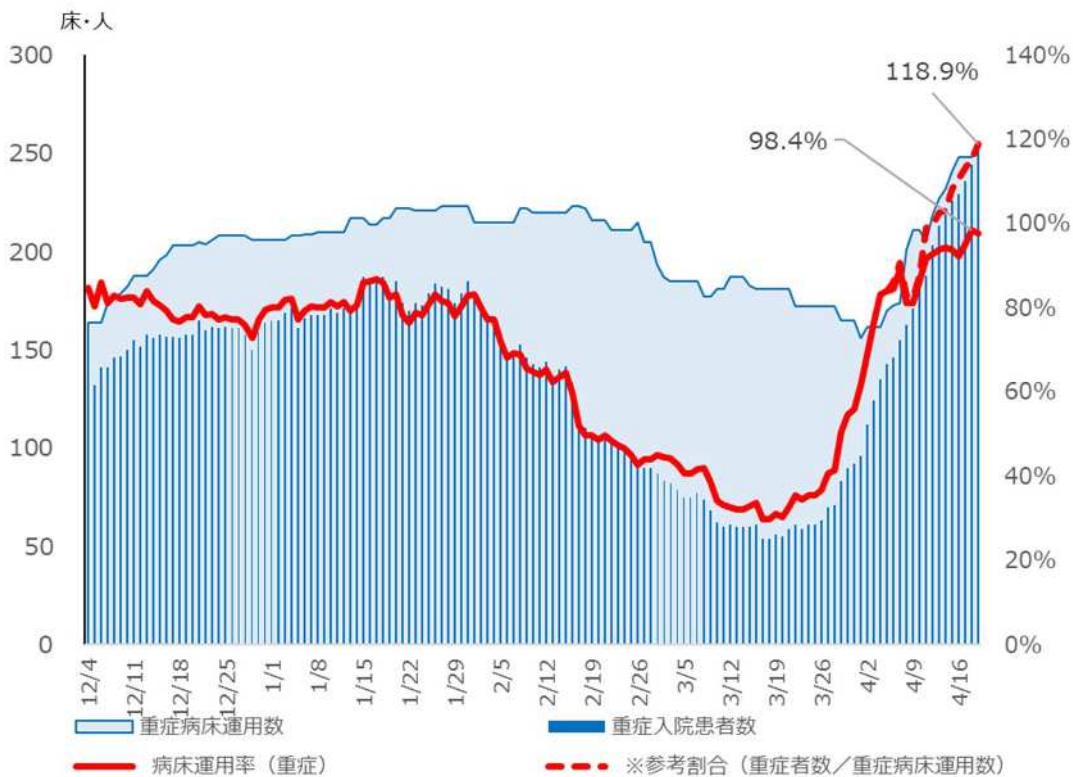
● 重症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

4月19日現在 **病床運用率97.6%**

運用病床数 254床※1 入院患者数 248人※2

※1 病床確保計画の確保病床数(224床)を上回って確保した病床数を含む。

※2 上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている重症者数54人(計 重症者数302人)



● 軽症中等症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

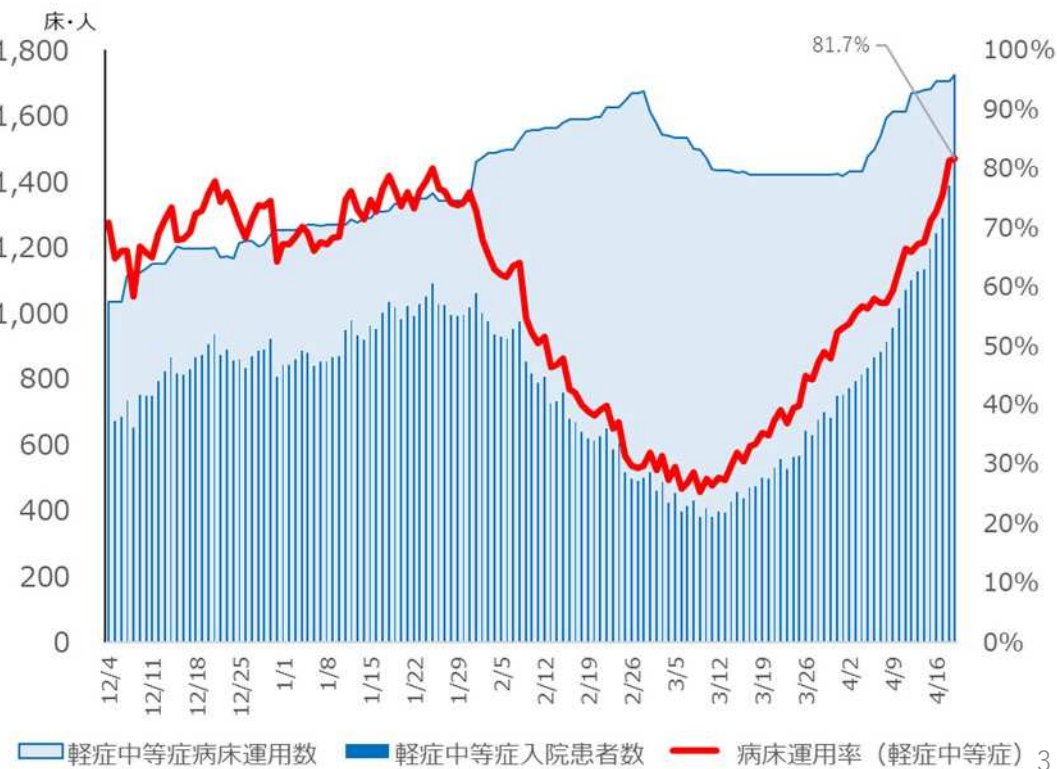
4月19日現在 **病床運用率81.7%**

運用病床数 1,725床 入院患者数 1,409人※

(※左記54人を含む)

・**小児・精神患者用病床等約80床を除いた運用率 約85%**

・**重症者を治療継続をすることで、軽症中等症患者受入可能な病床数は実際より少なく、極めてひっ迫**



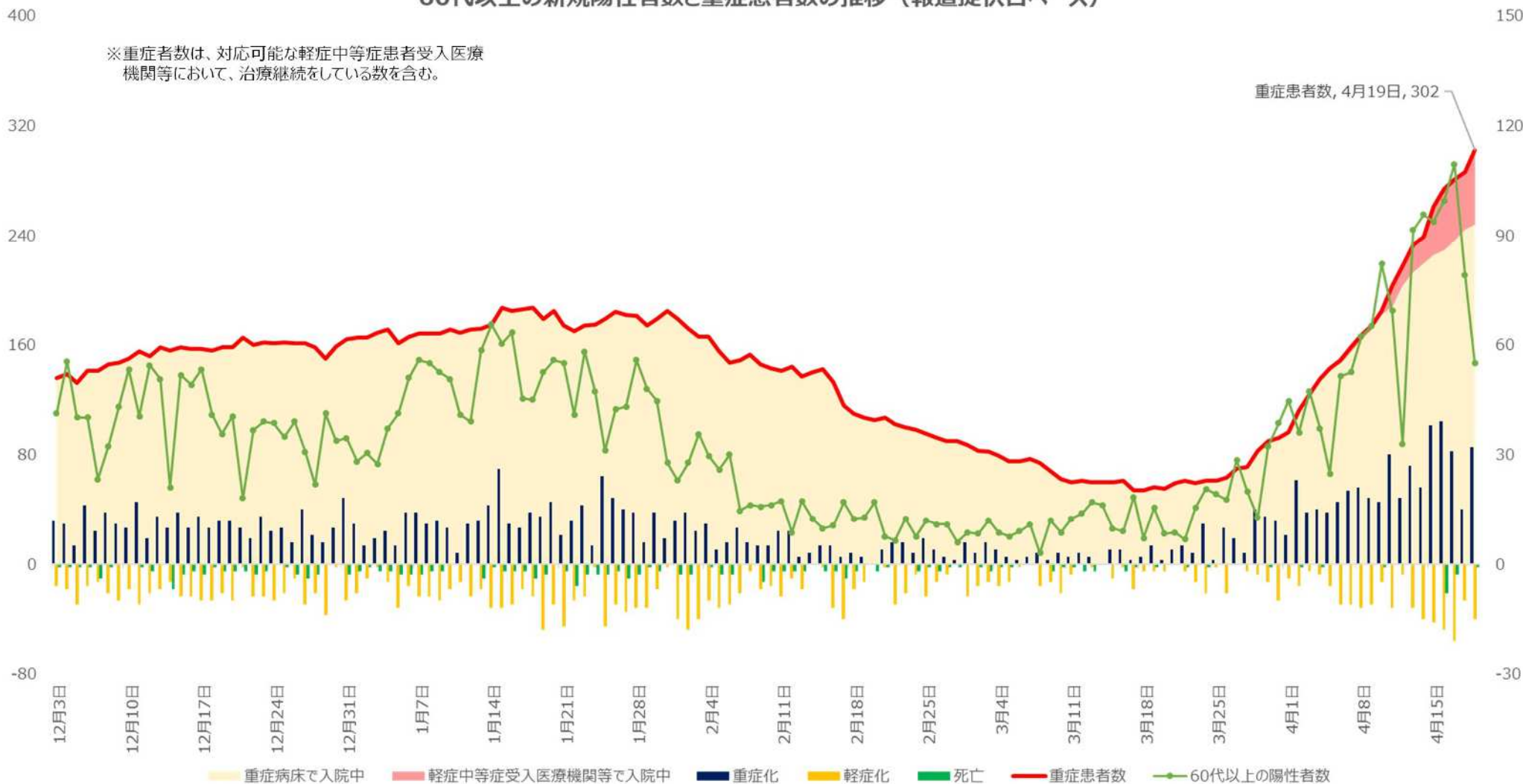
新規陽性者数と重症者数の推移

60代以上の新規陽性者数と重症患者数の推移（報道提供日ベース）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている数を含む。

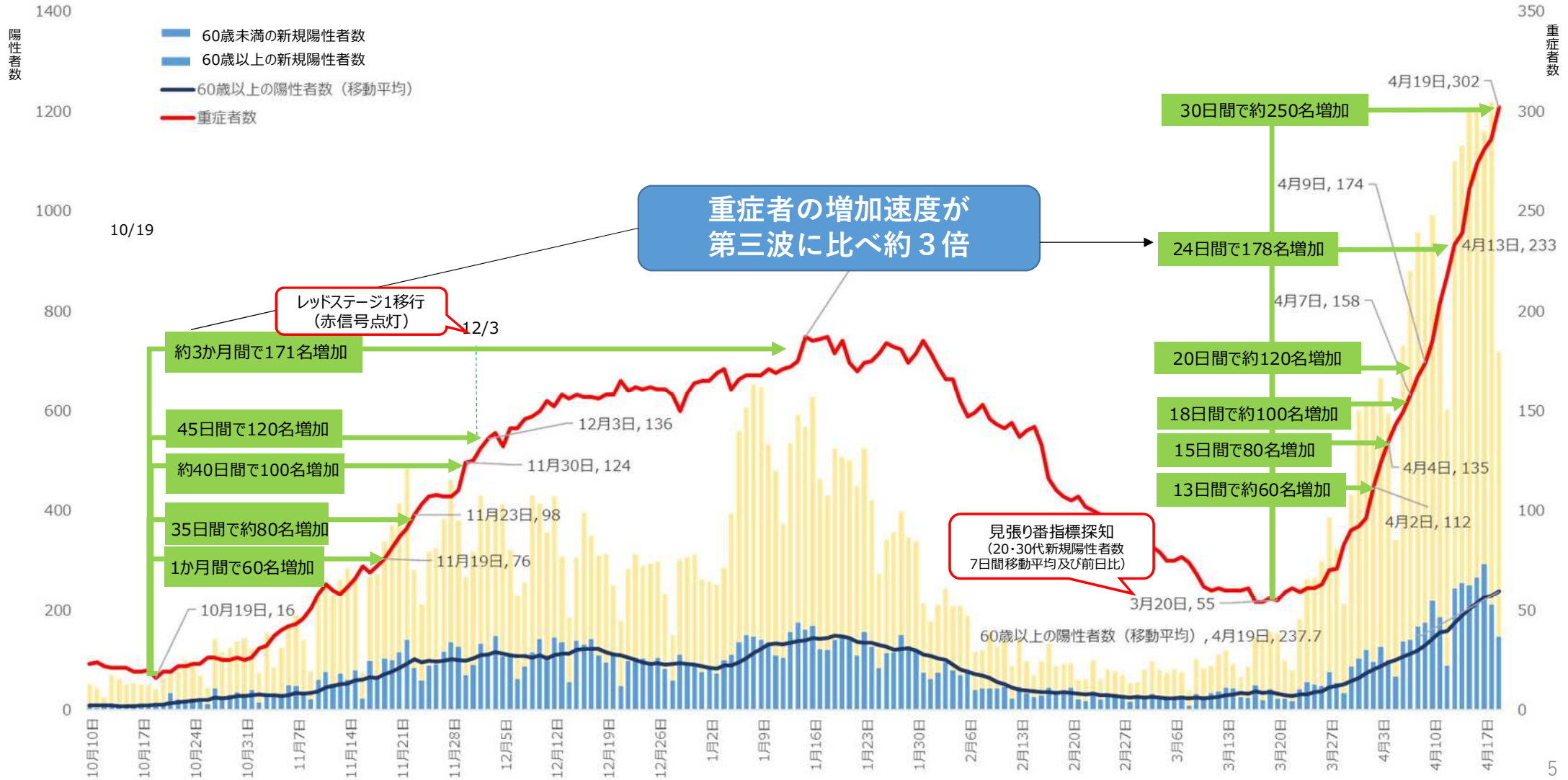
60代以上の新規陽性者数と重症患者数

重症化・軽症化・死亡の人数



重症者数と60歳以上の陽性者数の推移

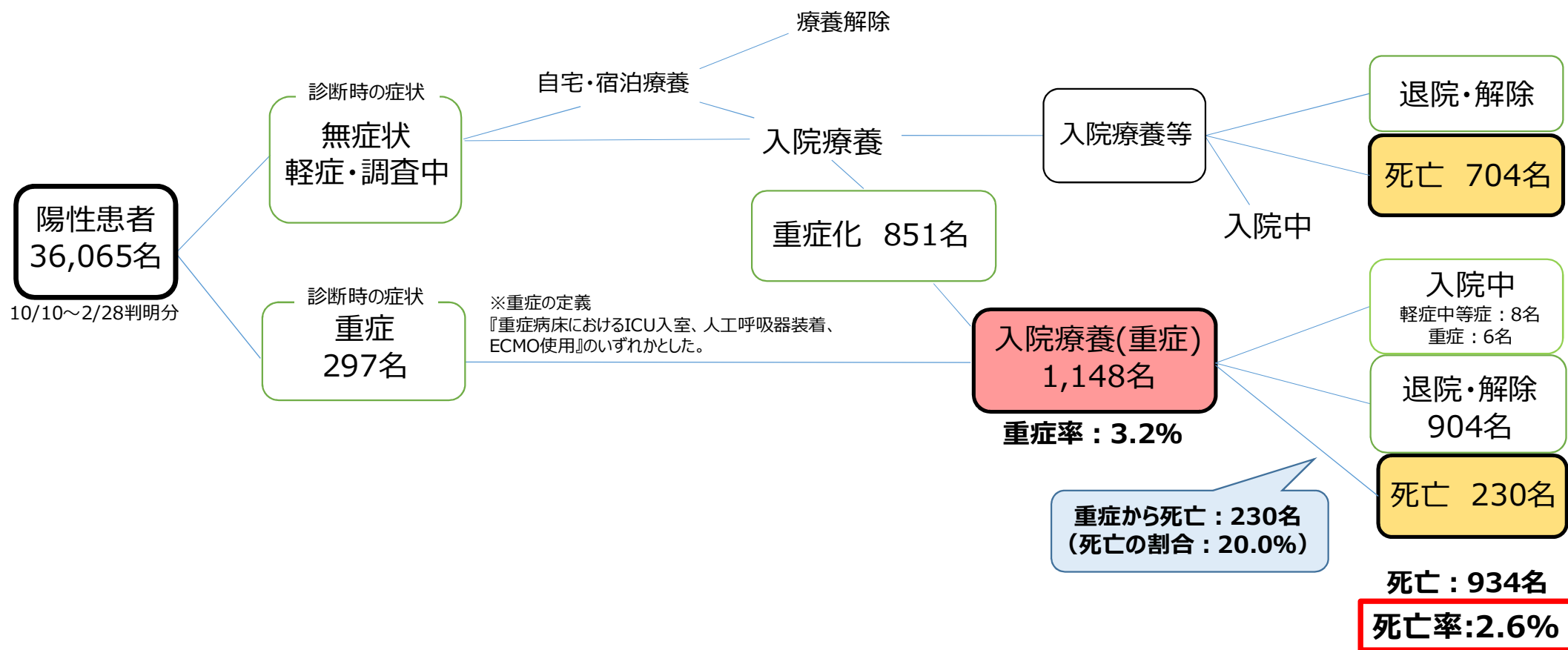
※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている数を含む。



(参考) 【第三波】重症及び死亡事例のまとめ (令和3年4月19日時点)

重症及び死亡例の経過

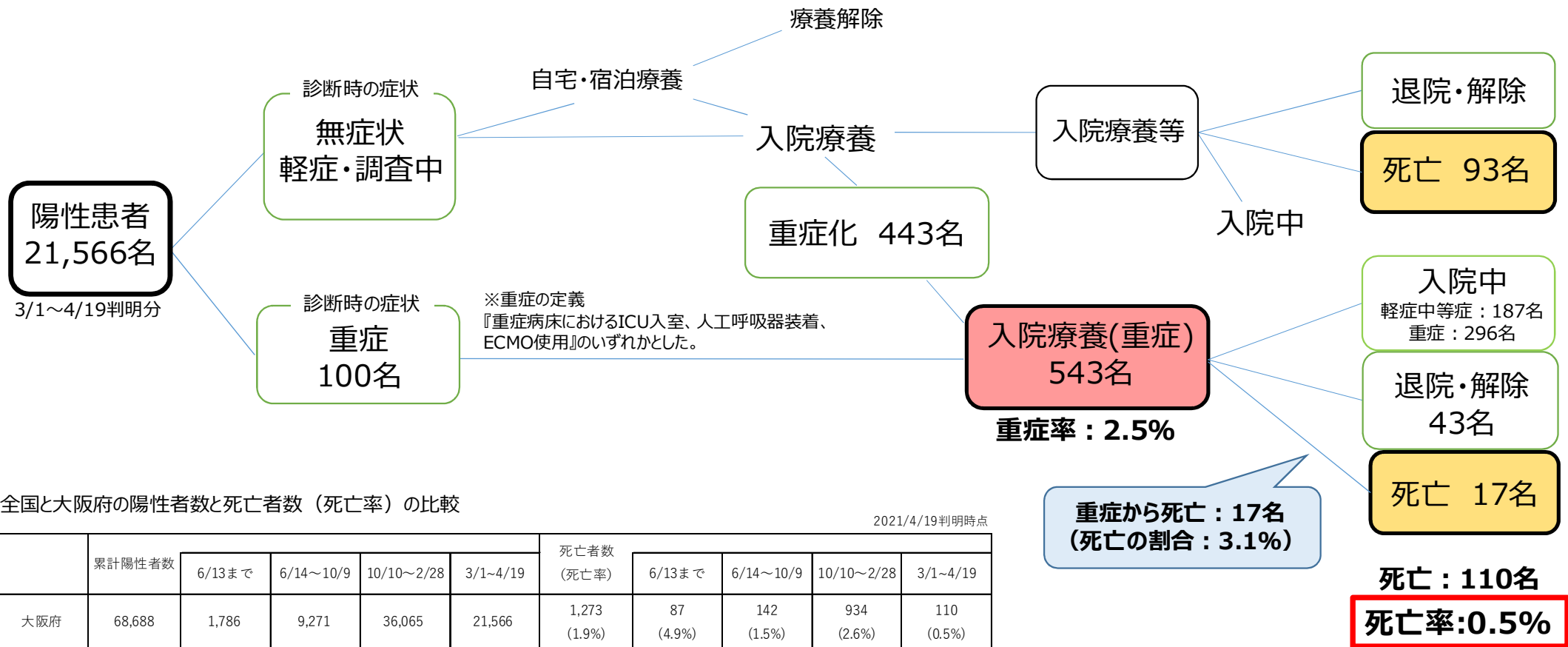
※死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合



【第四波】重症及び死亡事例のまとめ（令和3年4月19日時点）

重症及び死亡例の経過

※死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合



全国と大阪府の陽性者数と死亡者数（死亡率）の比較

2021/4/19判明時点

	累計陽性者数	陽性者数				死亡者数 (死亡率)	死亡者数			
		6/13まで	6/14~10/9	10/10~2/28	3/1~4/19		6/13まで	6/14~10/9	10/10~2/28	3/1~4/19
大阪府	68,688	1,786	9,271	36,065	21,566	1,273 (1.9%)	87 (4.9%)	142 (1.5%)	934 (2.6%)	110 (0.5%)
全国	531,466	17,179	70,012	343,342	100,933	9,638 (1.8%)	925 (5.4%)	698 (1.0%)	6,262 (1.8%)	1,753 (1.7%)

※チャーター機帰国者、クルーズ船乗客、空港検疫は含まれていない

※全国は厚生労働省公表資料（4/19の国内の発生状況）より集計。

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている数を含む。

【第四波の特徴 療養状況】重症者のまとめ（令和3年4月19日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている数を含む。

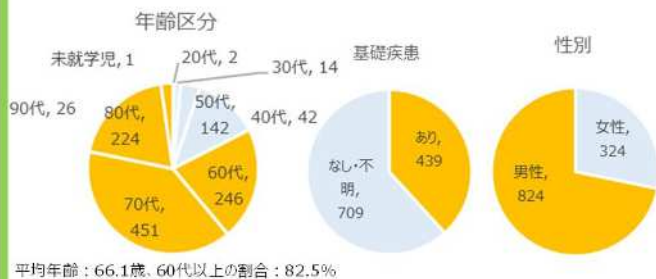
変異株陽性者は第三波と比べ、重症化率が高く、重症者数に占める50代以下の割合が35.6%（第三波 17.5%）と大きい。

第三波（10/10～2/28）

新規陽性者数	36,065
(再掲)40代以上(割合)	20,628(57.2%)
(再掲)60代以上(割合)	10,783(29.9%)
重症者数	1,148
死亡	230
転退院・解除	904
帰入院中（軽症）	8
帰入院中（重症）	6

■重症者の割合

- ①40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.5% (1,131/20,628)
- ②60代以上の陽性者に占める重症者の割合：8.8%(947/10,783)
- ③全陽性者数に占める重症者の割合：3.2%(1,148/36,065)

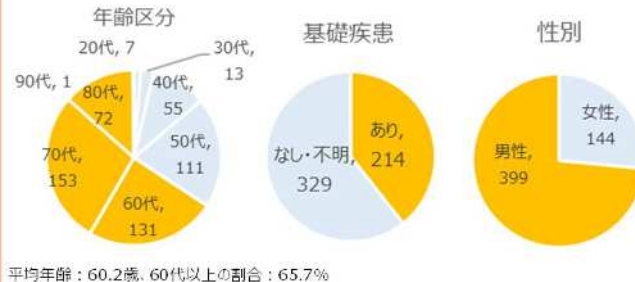


第四波（3/1以降）

新規陽性者数	21,566
(再掲)40代以上(割合)	10,566(49.0%)
(再掲)60代以上(割合)	4,441(20.6%)
重症者数	543
死亡	17
転退院・解除	43
帰入院中（軽症）	187
帰入院中（重症）	296

■重症者の割合

- ①40代以上の陽性者に占める重症者の割合：4.9%(523/10,566)
- ②60代以上の陽性者に占める重症者の割合：8.0%(357/4,441)
- ③全陽性者数に占める重症者の割合：2.5%(543/21,566)



【再掲】変異株陽性者

変異株スクリーニング陽性者数	3,511
(再掲)40代以上(割合)	1,568(44.7%)
(再掲)60代以上(割合)	645(18.4%)
重症者数	132
死亡	5
転退院・解除	9
帰入院中（軽症）	60
帰入院中（重症）	58

■重症者の割合

- ①40代以上の陽性者に占める重症者の割合：8.2%(128/1,568)
- ②60代以上の陽性者に占める重症者の割合：13.2%(85/645)
- ③全陽性者数に占める重症者の割合：3.8%：132/3,511



【第四波の特徴 療養状況】重症者のまとめ（令和3年4月19日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている数を含む。

		第三波	3/1～3/14判明分	3/15～3/31判明分	4/1～4/19判明分 (※)	【再】変異株陽性者
重症者の割合	40代以上の陽性者に占める重症者の割合	5.5%(1131/20628)	5.0%(36/717)	8.6%(153/1787) ↑	4.1%(334/8062)	8.2%(128/1568) ↑
	40代・50代の陽性者に占める重症者の割合	1.9%(184/9845)	2.8%(9/323)	3.6%(37/1019) ↑	2.5%(120/4783)	4.7%(43/924) ↑
	60代以上の陽性者に占める重症者の割合	8.8%(947/10783)	6.9%(27/394)	15.1%(116/768) ↑	6.5%(214/3279)	13.2%(85/645) ↑
	全陽性者に占める重症者の割合	3.2%(1148/36065)	3.0%(36/1184)	4.1%(161/3896) ↑	2.1%(346/16486)	3.8%(132/3511) ↑
重症者数に占める50代以下の割合		17.5%(201/1148)	25%(9/36)	28.0%(45/161) ↑	38.2%(132/346) ↑	35.6%(47/132) ↑

※陽性判明から重症化まで約1週間程度要することから、今後、重症者数が増加する期間

【第四波の特徴 療養状況】死亡例のまとめ（令和3年4月19日時点）

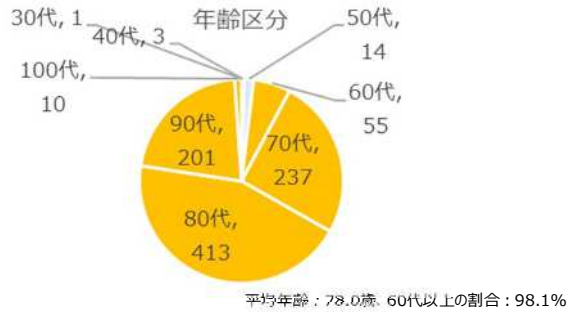
※変異株陽性者における死亡者数が少ないことから、現時点で比較は困難。

第三波（10/10～2/28）

新規陽性者数	36,065
(再掲)40代以上(割合)	20,628(57.2%)
(再掲)60代以上(割合)	10,783(29.9%)
死亡者数	934

■死亡例の割合

- ①40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：4.5%(933/20,628)
- ②60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：8.5%(916/10,783)
- ③全陽性者数に占める死亡例の割合：2.6%(934/36,065)



基礎疾患

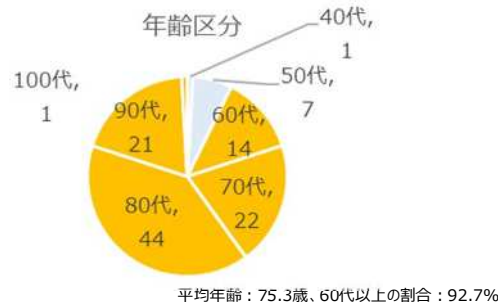


第四波（3/1以降）

新規陽性者数	21,566
(再掲)40代以上(割合)	10,566(49.0%)
(再掲)60代以上(割合)	4,441(20.6%)
死亡者数	110

■死亡例の割合

- ①40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：1.0%(110/10,566)
- ②60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：2.3%(102/4,441)
- ③全陽性者数に占める死亡例の割合：0.5%(110/21,566)



基礎疾患

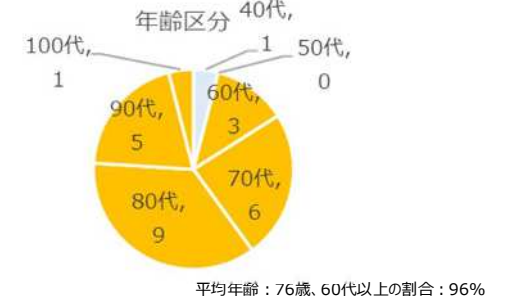


【再掲】変異株陽性者

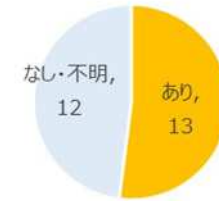
変異株スクリーニング陽性者数	3,511
(再掲)40代以上(割合)	1,568(44.7%)
(再掲)60代以上(割合)	645(18.4%)
死亡者数	25

■死亡例の割合

- ①40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：1.6%(25/1,568)
- ②60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：3.7%(24/645)
- ③全陽性者数に占める死亡例の割合：0.7%(25/3,511)



基礎疾患



新規陽性者数の推移と患者発生シミュレーション

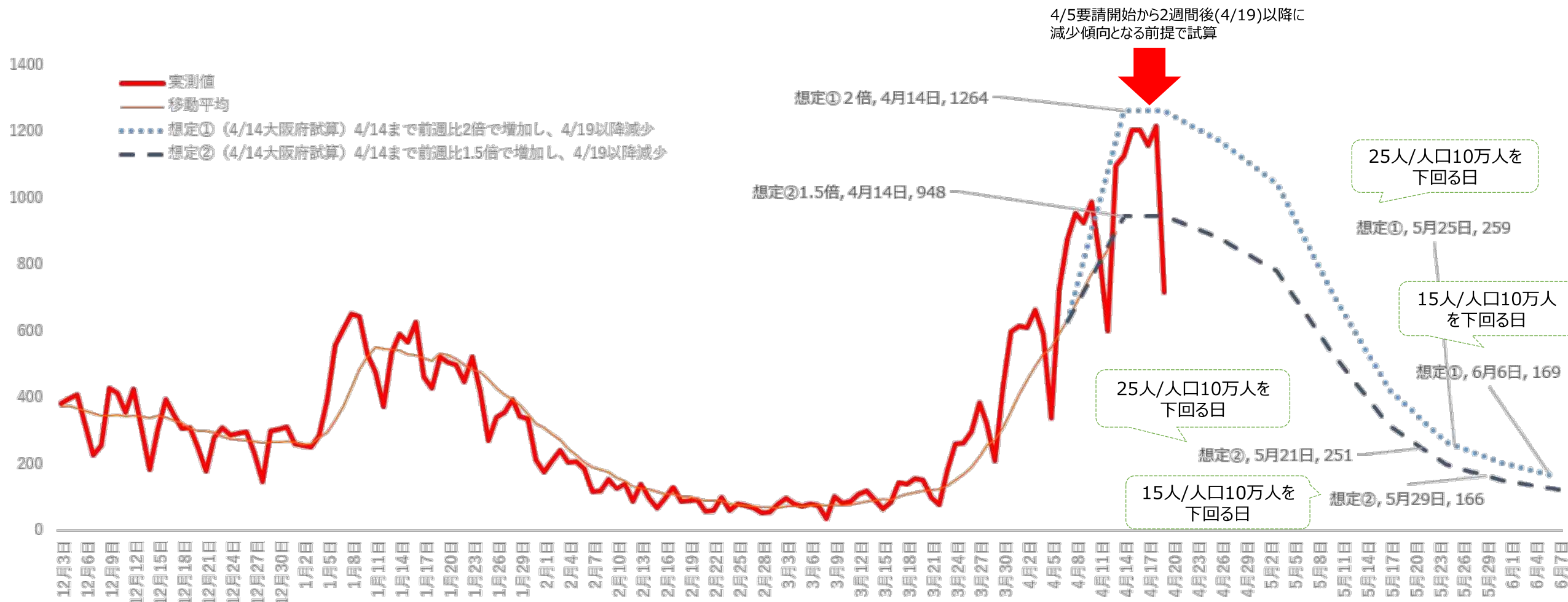
資料 1 - 4

■ 4/7の新規陽性者数の移動平均値632を起点に、以下の想定でシミュレーションを実施

想定①：4/14まで前週増加比2.0倍で増加し、4/19（4/5まん延防止等重点措置開始後2週間）以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

想定②：4/14まで前週増加比1.5倍で増加し、4/19（4/5まん延防止等重点措置開始後2週間）以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

※4/14から4/19までは新規陽性者数は横ばいになると仮定。



直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数が25（ステージⅣ）を下回る日：想定①5月25日、想定②5月21日

直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数が15（ステージⅢ）を下回る日：想定①6月6日、想定②5月29日

療養者数のシミュレーション

■以下の想定でシミュレーションを実施。
 想定①：4/14まで前週増加比2.0倍で増加し、4/19以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

想定②：4/14まで前週増加比1.5倍で増加し、4/19以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

【陽性者数の設定の考え方】

■新規陽性者中の60代以上の陽性者の割合を18%（※1）と設定。

■新規陽性者中の40代・50代の新規陽性者数を28%（※1）と設定。

※1：4月7日時点の新規陽性者中の割合（7日間）

【重症率の設定の考え方】

■60代以上の新規陽性者の重症率は9.0%（※2）と設定。

■40代・50代の新規陽性者の重症率は2.1%（※2）と設定。

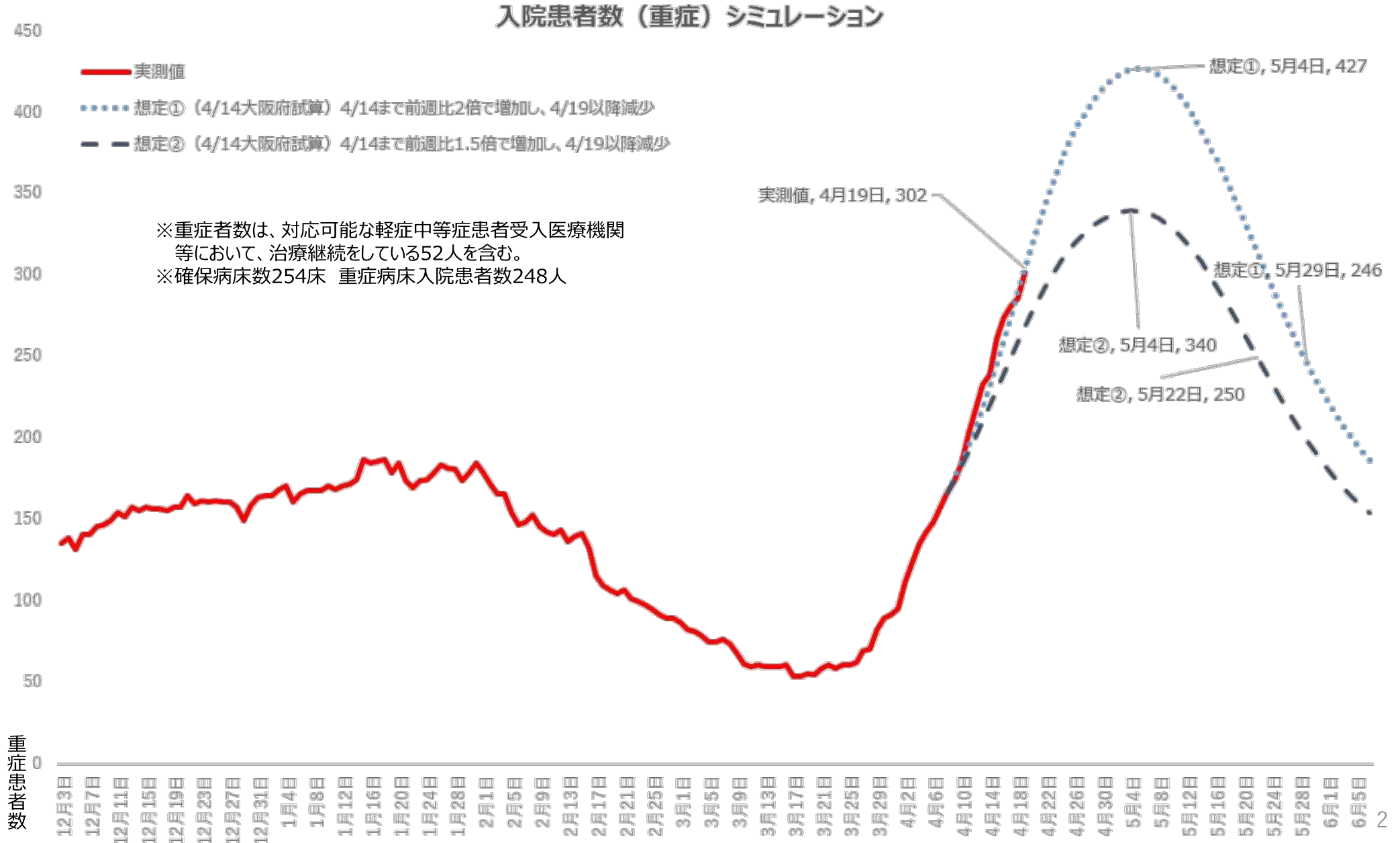
※2：第四波（3/1～4/5）における重症率

【療養方法と期間の設定の考え方】

■重症患者以外の陽性者のうち、20%は入院療養、35.7%は宿泊療養、44.4%は自宅療養となる。（第三波実測値）

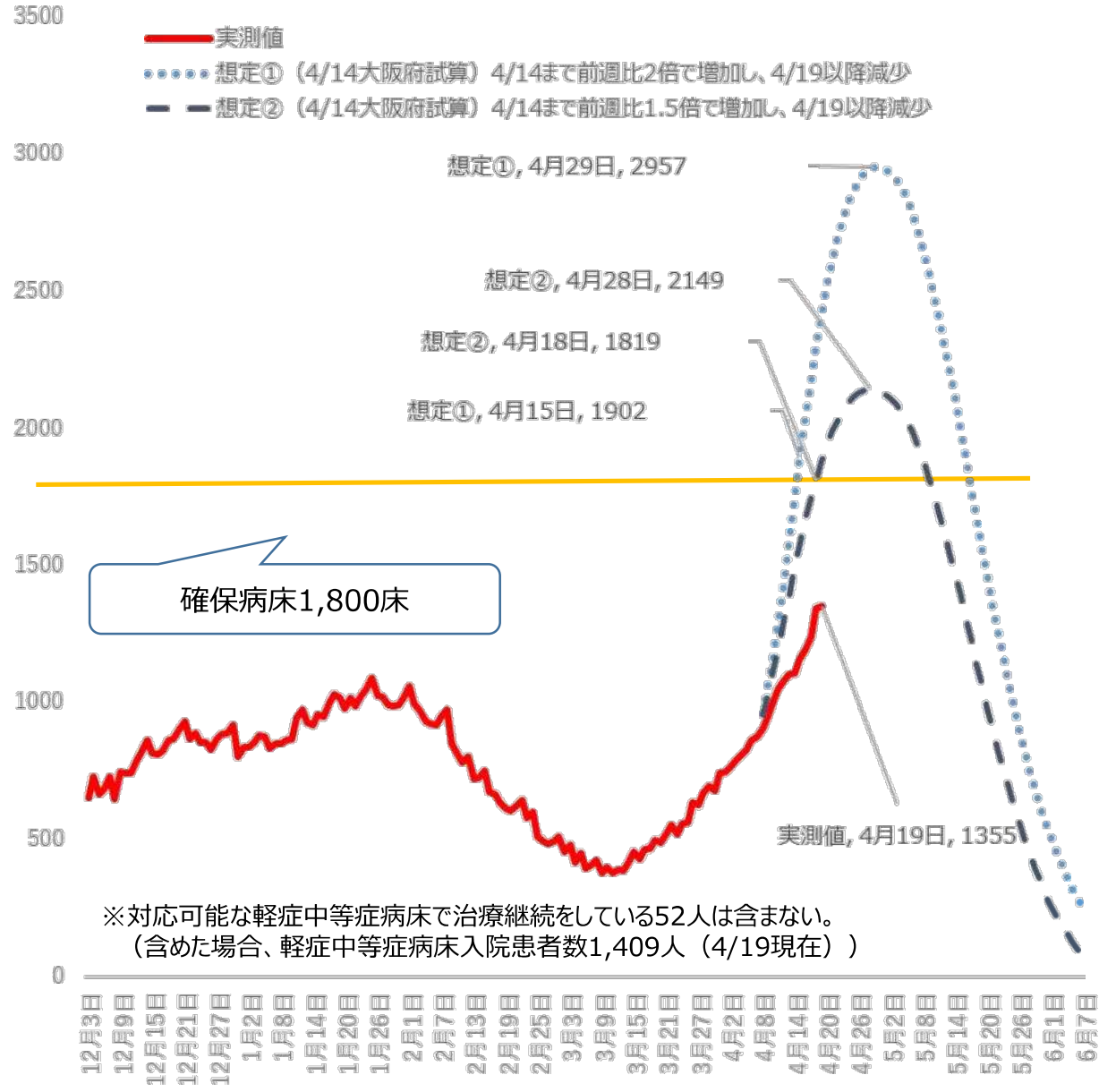
■重症以外の入院療養者は約12日後に退院する。宿泊及び自宅療養者は約7日後に解除となる。

（第三波（12/21時点）実測値）

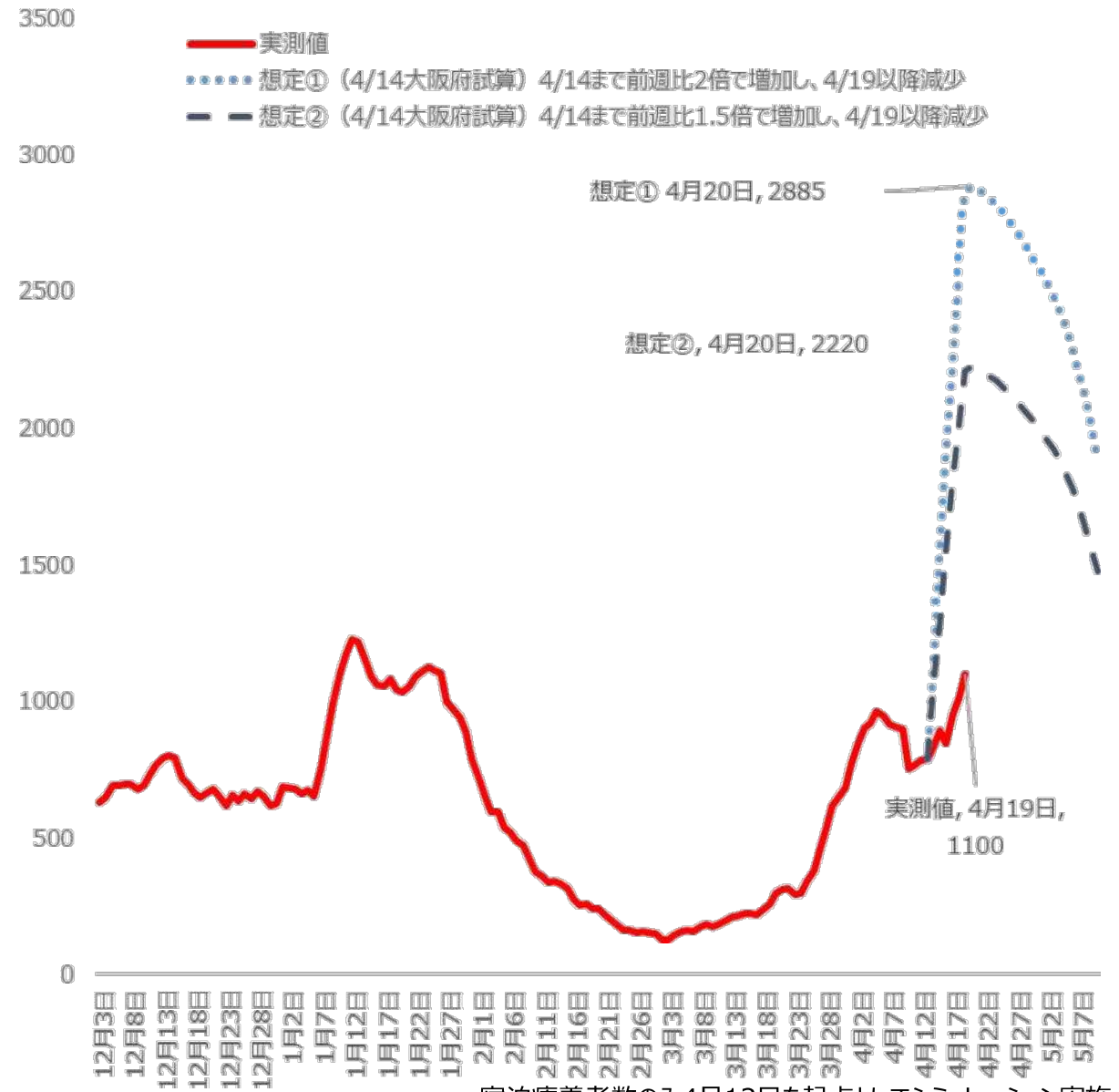


療養者数のシミュレーション

入院患者数（軽症中等症）シミュレーション



宿泊療養者数シミュレーション



宿泊療養者数のみ4月13日を起点としてシミュレーション実施

新規陽性者の発生動向

(1) 大阪府の発生動向

- 連日、過去最多の新規陽性者数を記録し（4/18 1,219名）、各年代の新規陽性者数移動平均も増加傾向にあることから、**感染が拡大し続ける恐れがあり、仮にピークアウトしたとしても、新規陽性者の規模が大きすぎることから極めて緩やかな収束になるものと考えられる。**
※4/7時点のシミュレーションでは、直近 1 週間の人口10万人あたり新規陽性者数が
 - ・25人（ステージⅣ）を下回る日は、5月下旬
 - ・15人（ステージⅢ）を下回る日は、5月末から6月上旬 になる見込みであり、感染収束に長期間を要する。
- 推定感染日別陽性者数においても、**4月1日以降の府全域での時短要請又は5日以降の大阪市内を対象とするまん延防止等重点措置における時短要請の効果は、現時点では見られない。**

(2) 市内・市外居住者の発生動向（週・人口10万人あたり）

- **4/1以降に感染したと推定される市外の新規陽性者は増加し、4/5、6に感染したと推定される市内外の新規陽性者も増加。現時点では、時短要請の効果が見られない。**
- 週・人口10万人あたり新規陽性者数も、**全年代で市内外居住者ともに急増し続けており、鈍化傾向が見られない。**
- 感染経路不明者の割合については依然 6 割を超過したままであり、**市内外ともに市中感染が拡大し続けている。**
- **保健所管内別新規陽性者数はいずれの管内もステージⅣの基準を大きく超過し、感染は府全域で急拡大している。**

(3) 夜の街関連やクラスターの発生動向

- **新規陽性者に占める夜の街の関係者及び滞在者の割合は直近 2 週間でやや減少しているが、実数としては緊急事態宣言発出後並み。滞在分類としては、居酒屋・飲食店が依然多く、滞在エリアとしては、市外はやや減少しているが、市内は増加。**
- クラスターは種別・陽性者数ともに、**直近 1 か月で施設関連及び企業事業所関連が急増。**大学・学校関連は3月中旬以降一定数発生。

(4) 変異株の状況

- **変異株PCR検査実施率は、直近 1 週間で28.9%と増加、陽性率は約 8 割。**

感染状況と医療提供体制の状況について

医療提供体制の状況

- **重症者数は約1か月で約250名増加し、過去最多となる302名（4/19現在）**となっている。
確保病床を上回る臨時増床や軽症中等症患者受入医療機関等における重症化時の治療継続（54名 4/19現在）、一般医療の一部制限による病床確保等を行ってもなお、**重症病床運用率は97.6%となり、満床の状態。**
- **軽症中等症病床についても、運用率が約85%**（小児・精神患者用病床等約80床を除いた運用率）となり、重症者の治療継続により軽症中等症患者受入可能な病床数は実際より少ないことから、極めてひっ迫し、**早晩、満床の状態となる**ことが見込まれる。
- また、療養者数が1万人を超えて発生しており、**自宅療養者数が8,000人を超過し、重症化時の救急搬送体制に大きな課題**を抱える恐れ。

今後の対応方針について

- 4月1日以降の府全域への時短要請（21時まで）及び5日以降のまん延防止等重点措置における市内飲食店等を対象とした**時短要請の効果は、現時点では見られない。**
また、**市中感染が依然拡大**しており、また、飲食店だけではなく、企業事業所関連など、**様々な日常生活の場において感染が拡大**していること、加えて**全保健所管内でステージⅣの基準を大きく超過する陽性者数が発生**していることから、**府全域を対象に、飲食店以外も含めた感染リスクを極力減らすことが必要。**
- ⇒緊急事態宣言発令要請による、**生活や健康の維持のために必要な場合を除いた府民への不要不急の外出の徹底**や**テレワークの徹底要請**などによる**接触機会の大幅な削減**によって、**府全域で感染拡大を食い止め、感染収束の速度を急速なものとし、医療提供体制のひっ迫を早期に改善していくことが必要**と考える。

医療提供体制確保のための緊急対策①

資料 1 - 6

第4波においては第3波を大きく上回るスピードと規模で感染が急拡大し、確保した病床数を患者数が上回り、入院先の調整が困難となっているため、医療提供体制の緊急的確保が急務。

●対策1 病床確保に向けた最大限の取組推進

●対策1-1 重症病床確保に向けた臨時緊急要請

- 現在の医療機関のコロナ病床確保状況や圏域ごとのコロナ以外も含めた救急受入の状況等を踏まえて、病床確保計画の確保病床数の最大限の運用に加え、以下の通り臨時緊急要請（特措法第24条第9項）（4月6日）

要請対象	要請内容	要請数
重症患者受入医療機関 (5大学)	各大学に対し総計15床以上の運用	追加合計約30床
重症患者受入医療機関 (大学以外19医療機関)	許可病床300床以上の医療機関：3床以上の追加 許可病床300床未満の医療機関：1床以上の追加	追加合計約40床
中等症患者受入基幹医療機関 (35医療機関)	300床以上公立公的病院、400床以上地域医療支援病院等、 人工呼吸器整備医療機関 ：患者が重症化した場合も入院医療を継続（2名程度まで）	追加合計 約30床 (軽症中等症病床の転用)

※ 上記については、時限的な緊急措置として、一般医療を一部制限の上（不急の予定入院・手術の延期、救急患者受入体制の重点化等）、確実に運用いただくよう、再度の緊急要請（4月12日）

対策1-1による現在の確保状況 要請数計約100床に対し 約150床
(うち既に運用開始：重症病床 45床、中等症病床における入院医療の継続 40床)

医療提供体制確保のための緊急対策②

●対策1-2 軽症中等症病床確保に向けた臨時緊急要請

- ・現在確保数約1,800床の追加確保に向け、以下の通り臨時緊急要請 **(感染症法第16条の2)** (4月19日)

要請対象	要請内容						
200床未満の二次救急医療機関 【新規】	内科又は呼吸器内科救急協力診療科標榜している200床未満の151医療機関のうち、受入を行っていない医療機関に5床要請						
一般病床200床以上の医療機関 【新規】	一般病床200床以上の103医療機関※のうち、現在受入を行っていない医療機関に10床要請 <small>※特定の患者のみを対応している医療機関、法人内で役割分担している医療機関とは別途調整</small>						
受入医療機関 【既存】	<p>公立／国立病院（約15病院）：4月7日付け緊急要請内容の徹底</p> <table border="0"> <tr> <td>許可病床400床以上の医療機関</td> <td>60床以上の運用（重症病床確保の場合48床以上）</td> </tr> <tr> <td>許可病床300床以上400床未満の医療機関</td> <td>45床以上の運用（重症病床確保の場合36床以上）</td> </tr> <tr> <td>許可病床200床以上300床未満の医療機関</td> <td>20床以上の運用（重症病床確保の場合16床以上）</td> </tr> </table> <p>民間／公的病院（約90病院）：許可病床300床以上 15床以上の運用 許可病床200床以上 10床以上の運用 許可病床200床未満 5床以上の運用</p>	許可病床400床以上の医療機関	60床以上の運用（重症病床確保の場合48床以上）	許可病床300床以上400床未満の医療機関	45床以上の運用（重症病床確保の場合36床以上）	許可病床200床以上300床未満の医療機関	20床以上の運用（重症病床確保の場合16床以上）
許可病床400床以上の医療機関	60床以上の運用（重症病床確保の場合48床以上）						
許可病床300床以上400床未満の医療機関	45床以上の運用（重症病床確保の場合36床以上）						
許可病床200床以上300床未満の医療機関	20床以上の運用（重症病床確保の場合16床以上）						

対策1-2により計約1,100床の要請

●対策1-3 転院・退院の支援の強化

- ・退院基準等を満たした患者の転院支援を継続的に行い、病床を効率的に運用。
 - ①コロナ退院基準等のさらなる周知徹底
 - ②コロナ入院患者データの情報収集・精査（中等症軽症患者の長期（15日以上）入院者割合 13.1%（R3.4.12時点））
 - ③後方支援病院の確保：186病院・最大1,348床（R3.4.9時点）⇒リスト化し受入病院・保健所へ情報提供

医療提供体制確保のための緊急対策③

●対策1-4 大阪コロナ重症センター等における看護師確保の推進

- ・府看護協会による人材バンクの活用に加え、府内医療機関や国関係医療機関等からの応援により、必要な看護師（120名）を確保し、大阪コロナ重症センターの早期の最大運用（30床）を行う。

【現在の看護師確保状況】（4月19日現在）

確保済み	人数
大阪府看護協会での雇用（人材バンク）	約70名
府内医療機関からの派遣協力	10～20名
派遣開始日を調整中	人数
国関係医療機関からの応援（ICU経験かつ2週間以上の応援可の方）	約50名

※上記以外に国関係医療機関等から派遣のご意向をいただいている看護師約40名については、応援先・期間を個別に調整

●対策2 新型コロナ患者搬送への対応（入院患者待機ステーション(仮称・場所非公表)の設置検討)

- ・119番要請した自宅療養中の新型コロナ患者の入院調整に時間を要し、救急車内で待機いただく事例が多数発生していることから、患者の一時待機場所を設置し、入院先の病院が決定するまでの間、酸素投与等の措置を行える体制を整備。

【自宅療養者からの119番要請状況（大阪市消防局）速報値】（4月16日から18日）

消防機関	患者からの119番通報	60分以上の現場滞在	最大現場滞在
大阪市消防局	38件	26件	443分

医療提供体制確保のための緊急対策④

●対策3 自宅療養者・入院調整中患者への対応強化

- ・自宅療養者等の急増に対応するため、健康観察体制等を確保・充実。
- 【新規・拡充】府医師会、地区医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション協会等の協力、連携による診療体制の検討
 - ・オンラインでの診療・薬剤処方体制の充実
(かかりつけ医に加え、オンライン診療(電話・情報通信機器による診療)可能な医療機関(現在280か所)の拡充について調査中)
 - ・訪問看護との連携による往診体制
- 【新規】民間医療派遣事業者の活用による夜間等の緊急往診体制の検討
- 【継続】パルスオキシメーターの配布(府で約10,000台、保健所設置市へは配備費全額補助 ⇒府全域で約14,600台確保)
(原則40歳以上で保健所長が判断)
配食サービスの実施(府管R2.11～、政令中核市含めR3.1に全域実施済)

●対策4 宿泊療養における対応強化

- ・陽性者の増加に伴い、宿泊施設の順次開所(現在11箇所)及び搬送車の確保、療養調整体制を強化するとともに、急な重症化等に対応できるよう、健康観察体制等を強化。(現在1日あたり約400人の療養調整を実施)
- 【新規・拡充】酸素投与体制の整備やオンライン診療・薬剤処方の充実
 - ・体調の増悪、急変した患者に対し、入院調整までに一時的・緊急的に酸素の投与ができる体制をすべての宿泊施設に整備(1ホテル3室に在宅酸素療法機器の配備)
 - ・府医師による健康相談及びオンライン診療による薬剤処方の実施、必要な入院調整の実施
- 【継続】パルスオキシメーターの配備、ウェアラブルデバイスの設置

宿泊療養施設の確保について

資料1-7

契約施設の状況

施設名	所在地	室数	状況
大阪アカデミア(新館1)	住之江区	159室	稼働中
大阪アカデミア(新館2)		153室	稼働中
ホテルイルグランデ梅田	北区	245室	稼働中
ウェリナホテルプレミア中之島イースト	西区	310室	稼働中
アパホテルなんば南恵美須町駅	浪速区	234室	稼働中
リッチモンドホテルなんば大国町	浪速区	187室	稼働中
スーパーホテル大阪天然温泉	西区	400室	稼働中
ライズホテル大阪北新地	北区	210室	稼働中
ホテルコンサルト新大阪	淀川区	288室	稼働中
ジーアールホテル江坂	吹田市	230室	稼働中
ウェリナホテルプレミア中之島ウエスト	西区	284室	稼働中
アパホテルなんば駅東	中央区	359室	稼働中
アパホテル東梅田南森町	北区	220室	4/23開所

計 12施設(3279室)

■今後5月上旬までにさらに1施設(205室)新規開設予定

さらなる施設の確保

【宿泊施設の公募実施】

- ・対象施設 100室以上で1棟貸し可能な府内宿泊施設
- ・受付期間 令和3年4月6日(火)から4月9日(金)

⇒応募状況 26事業者55施設

新規感染者数が急拡大する中、
早期に開所できる施設を公募の中から新たに確保

■4月下旬に1施設(196室)新規開設予定

12施設(3279室)

⇒14施設(3680室)体制へ準備中

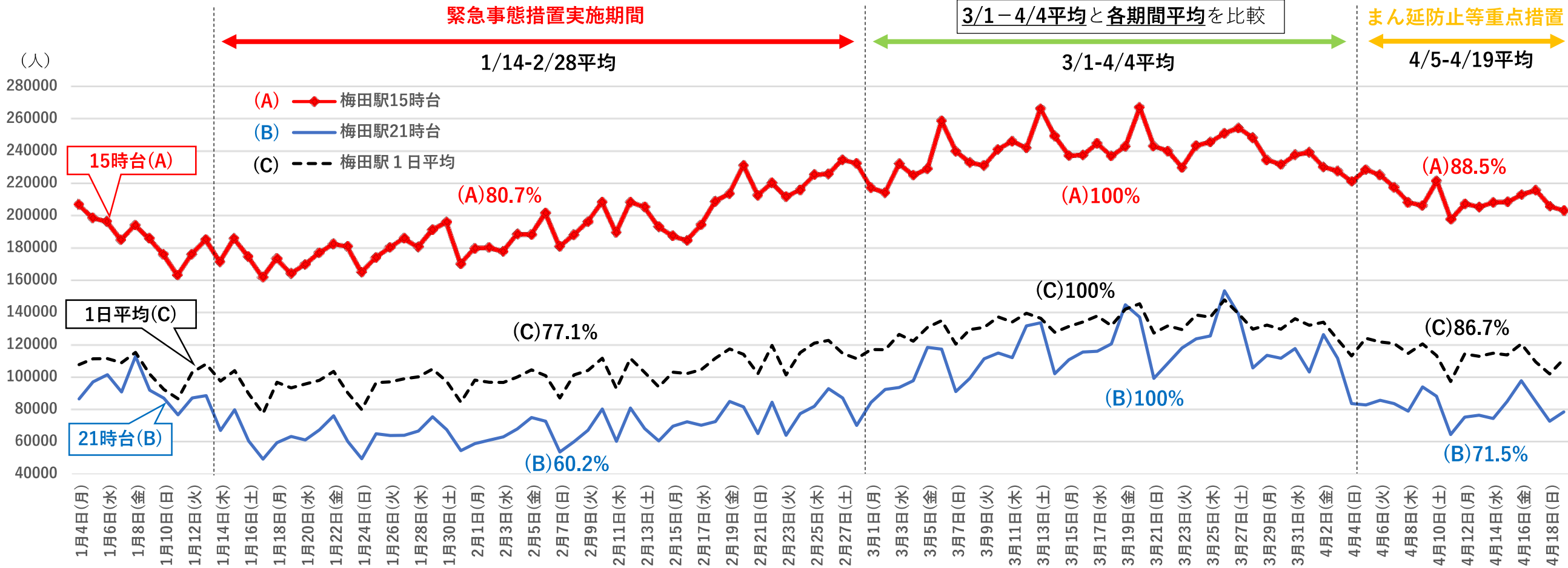
【参考】4/18時点 ※

使用率 36% ※ 1100人/3059室(療養者数/稼働室数)

※標準的な入所サイクルは平均入所日数6日、翌日健康観察の上、午後以降に退所、その翌日以降に清掃を行ったのち、新たな入所が可能となる。療養者数には、退所日と清掃日は入っておらず、理論上、使用率は6/8=75%が上限となる。

【時間帯別】滞在人口の推移（梅田駅15時台・21時台）

資料 1 - 8



・成人式前後の懇親会への参加自粛

・1都3県との往来自粛

・1/9

・緊急事態措置（時短要請20時まで）

1/14

5

・緊急事態宣言延長

2/8

5

・緊急事態宣言解除

3/15

大阪府全域時短要請（21時まで）

・大阪府全域時短要請（21時まで）

4/15

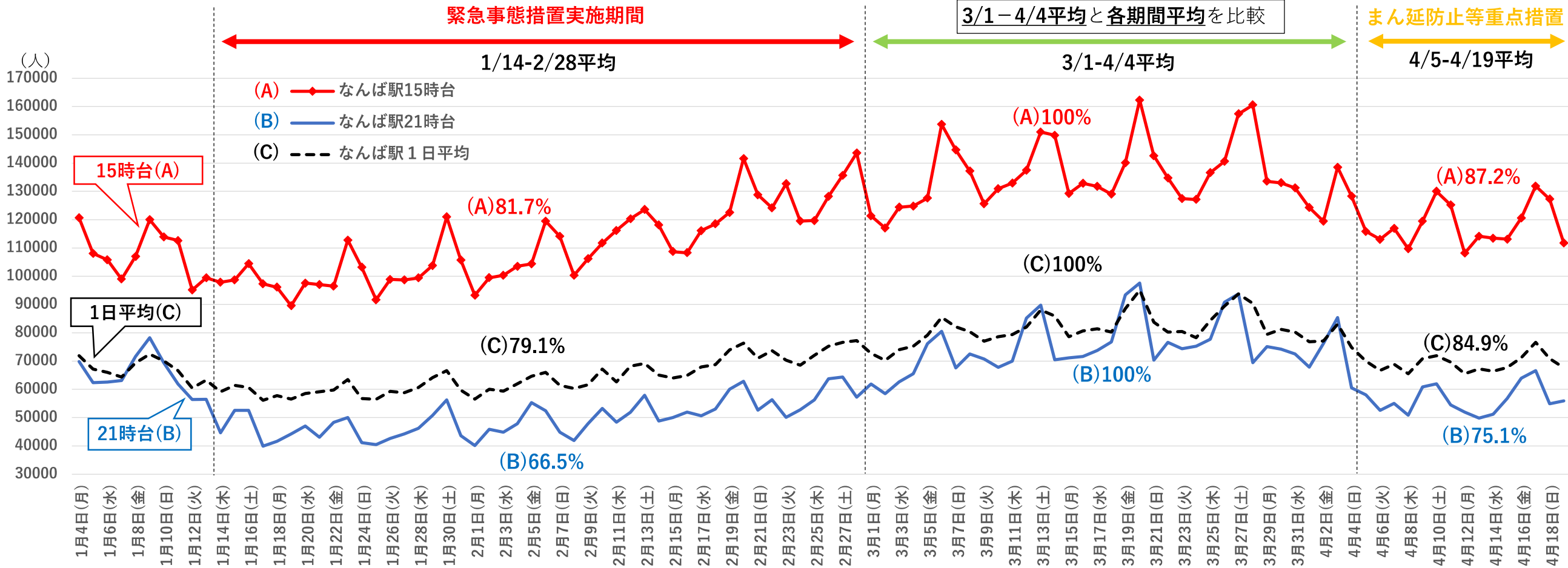
・まん延防止等重点措置

4/5

（時短要請市内20時・市外21時まで）

※駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント
 (例)エリアに1人の人が、1時間滞在していた場合は1人、
 30分滞在していた場合は0.5人として計算
 【出典：株式会社Agoop】

【時間帯別】滞在人口の推移（なんば駅15時台・21時台）



1/9
 ・成人式前後の懇親会への参加自粛
 ・1都3県との往来自粛

1/14
 ・緊急事態措置（時短要請20時まで）

2/8
 ・緊急事態宣言延長

3/15
 ・緊急事態宣言解除
 ・大阪市全域時短要請（21時まで）

4/15
 ・大阪府全域時短要請（21時まで）

4/5
 ・まん延防止等重点措置
 （時短要請市内20時・市外21時まで）

※駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント
 (例)エリアに1人の人が、1時間滞在していた場合は1人、
 30分滞在していた場合は0.5人として計算
 【出典：株式会社Agoop】

感染に強い飲食店に向けた「見回り隊」について（昼間の見回り調査）

資料1-9

まん延防止等重点措置区域である大阪市内の飲食店（20時以降通常開店する店舗を除く約4万店）に対し、感染防止対策の徹底を要請するため、「見回り隊」による個別店舗訪問を実施。

体制

4/5～11 20班（40人）体制（大阪府・大阪市職員）
 4/12～5/5 150班（300人）体制（民間委託）
 ※訪問時間の拡充（4/19～）
 13時30分～17時30分⇒11時～20時

主な調査項目

- ・ アクリル板等の設置（又は座席の間隔の確保）
- ・ 消毒液の設置（手指消毒の徹底）
- ・ 換気の徹底 及び CO2センサーの設置
- ・ マスク会食の徹底



見回り状況

見回り店舗数 12,639店（4/5～18）

訪問店舗数 7,387店（調査店舗数 7,302店） 休業・店頭販売等（5,252店）

アクリル板の設置 (座席間隔の確保)			消毒液の 設置	換気の徹底		マスク会食 の徹底	協力いた けなかつた
アクリル板 又は座席間 隔の確保	うちアクリル 板の設置	うち座席間隔 の確保		定期的な 換気	CO2センサ ーの設置		
	目視	聞き取り	目視・聞き取り	聞き取り	目視	聞き取り	85
6,537	4,798	6,864	6,976	6,922	3,741	6,442	
89.5%	65.7%	94.0%	95.5%	94.8%	51.2%	88.2%	

調査とあわせ、
 ○アクリル板の設置徹底
 ○消毒液は、入店時利用者への手指消毒の徹底
 ○換気の徹底のため、CO2センサーの設置
 ○マスク会食の徹底のため、店主への呼びかけに加え、卓上POPの設置
 などを働きかけ

※割合は、調査店舗数を母数としている

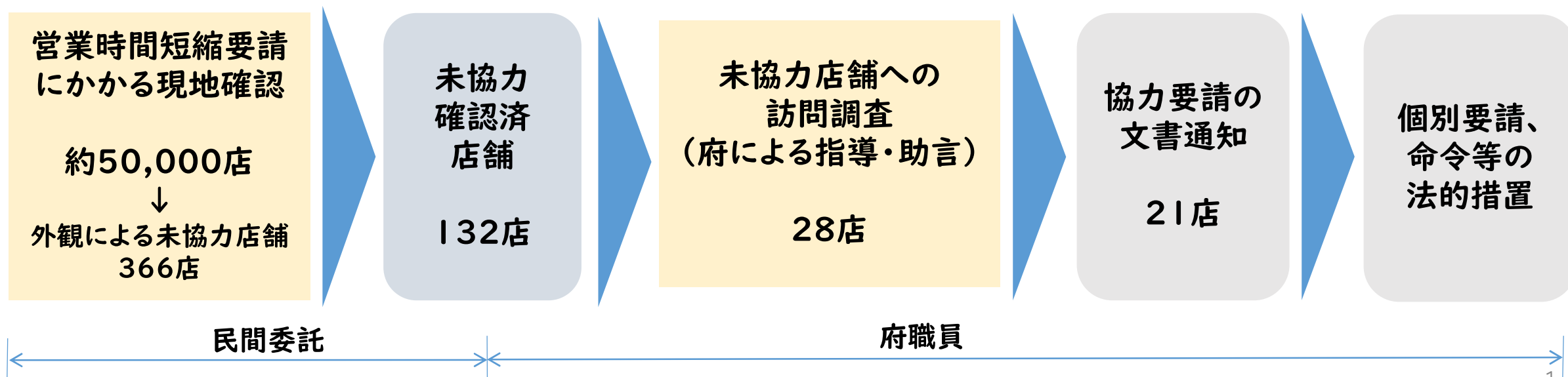
まん延防止等重点措置区域である大阪市内の飲食店（約6万店）に対し、営業時間短縮要請（20時まで）の実効性確保のため、大阪府警察と連携し「見回り隊（20時以降）」による現地確認、訪問調査等を実施。

体制

4/5～9	現地確認	10人体制（民間委託）
4/12～5/5	現地確認 訪問調査	100人体制（民間委託） 最大100人体制（府職員）

取組状況

（4/18現在）



【緊急事態宣言発出の考え方】（4/16 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針より抜粋）

国内での感染拡大及び医療提供体制・公衆衛生体制のひっ迫の状況（特に、分科会提言におけるステージⅣ相当の対策が必要な地域の状況等）を踏まえて、全国かつ急速なまん延により国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすおそれがあるか否かについて、政府対策本部長が新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会の意見を十分踏まえた上で総合的に判断する。

【現在の状況】

- ◆ 4月19日現在、政府分科会におけるモニタリング指標のうち、陽性率以外はステージⅣ相当。
- ◆ 重症病床及び軽症中等症病床含む病床占有率いずれも急増し、過去最多の80%（国基準）を超過。
- ◆ まん延防止等重点措置の開始（4月5日）から2週間程度が経過しているが、感染拡大が継続。

指標（抜粋）		ステージⅣ 目安	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	ステージⅣ 目安の状況
医療提供 体制等の負荷	確保病床の占有率	50%以上	70.9%	73.3%	76.1%	81.3%	82.6%	●
	入院率	25%以下	13.0%	12.6%	12.3%	12.3%	12.3%	●
	重症病床の占有率	50%以上	69.8%	72.6%	75.4%	76.5%	80.0%	●
	人口10万人あたり療養者数	30人以上	124.11	132.41	140.49	150.19	152.86	●
感染の状況	陽性率 1週間平均	10%以上	8.4%	8.0%	7.7%	8.0%	8.0%	○
	週・人口10万人あたり新規報告数	25人以上	76.96	80.14	82.06	86.51	87.84	●
	感染経路不明割合 1週間平均	50%以上	63.7%	63.3%	63.9%	64.6%	64.8%	●

特措法に基づく緊急事態宣言の発出を国に要請する。